

# 県営住宅福守第一団地給水設備改修工事 (1棟・2棟)

## 図 面 目 録

図面番号	図 面 名 称	縮 尺
M-00	図面目録	—
M-01	機械設備工事 特記仕様書(1)	—
M-02	機械設備工事 特記仕様書(2)	—
M-03	配置図、付近見取図	S=1/300
M-04	給水設備 系統図	—
M-05	給水設備 受水槽廻り平面図(改修後)(改修前)	S=1/50
M-06	給水設備 1棟屋上高置水槽廻り平面図(改修後)(改修前)	S=1/50
M-07	給水設備 2棟屋上高置水槽廻り平面図(改修後)(改修前)	S=1/50
M-08	給水設備 仮設給水平面図	S=1/50
M-09	給水設備 受水槽参考姿図	S=1/50
M-10	給水設備 高置水槽参考姿図	S=1/50
M-11	電気設備 平面図(改修後)(改修前)	S=1/50
M-12	電気設備 平面図(仮設)	S=1/50



# 機械設備工事特記仕様書

## I. 工事概要

1 工事場所 倉吉市西福守町

## 2 建物概要

番号	建物名称	構造	階数	建築基準法による延べ面積(m <sup>2</sup> )	消防法施行令別表第一の区分	備考
1	県営住宅福守第一団地1棟	RC	3F	924.49	( )項	
2	県営住宅福守第一団地2棟	RC	3F	1140.60	( )項	
3					( )項	
4					( )項	
5					( )項	

## 3 工事種目 (◎印の付いたものが対象工事種目)

工事種目	番号	1	2	3	4	5	屋外	備考
● 空調設備								
● 冷暖房設備								
● 換気設備								
● 排煙設備								
● 自動制御設備								
● 衛生器具設備								
◎ 給水設備		○	○				○	
◎ 排水設備		○	○				○	
● 給湯設備								
● ガス設備								
● 浄化槽設備								
● 消火設備								
● さく井設備								
◎ 電気設備工事		○	○				○	
● 建築工事								

## 4 設備概要 (本工事における工事種目ごとの概要を示すもので、仕様を規定するものではない。)

◎印の付いたものを適用する。

項目	設備概要
● 空調設備	● 単一ダクト方式 ● 各階ユニット方式 ● ダクト併用ファンコイルユニット方式
● 冷暖房設備	● ファンコイルユニット方式 ● パッケージ方式
● 暖房設備	● 温水暖房 ● 蒸気暖房 ● 温風暖房 ( ● 局所式 ● 中央式 ) ● 床暖房
● 熱源	● 電気 ● 灯油 ● A重油 ● ガス ● バイオマス
● 主要熱源機器	● 鋼製ボイラー ● 鋳鉄製ボイラー ● 真空式温水発生機 ● 無圧式温水発生器 ● チリングユニット ● スクリュー冷凍機 ● 遠心冷凍機 ● 吸収式冷凍機 ● 直置き吸収式冷温水機 ● 小形吸収式冷温水機ユニット ● バイオマスボイラー ● ヒートポンプパッケージエアコン ● ルームエアコン ● 温風暖房機 ● FF暖房機 ● ベレトストーブ
換気設備	● 第一種 ● 第二種 ● 第三種
排煙設備	● 機械排煙 ( 適用法規 ● 建基法 ● 消防法 )
自動制御設備	● 電気式 ● 電子式 ● デジタル式
◎ 給水設備	給水方式 ● 水道直結方式 ◎ 高置水槽方式 ● ポンプ直送方式 ● 増圧給水方式 水源 ◎ 水道水 ● 井水
	排水方式 ◎ 自然流下 ● ポンプ排水 ( ● 汚水 ● 雑排水 ● 雨水 )
	汚水 ● 公共下水道 ● 浄化槽 雑排水 ◎ 公共下水道 ● 浄化槽
	雨水 ● 公共下水道 ◎ 側溝 ● 河川
◎ 排水設備	処理方式 ● 小規模合併 ● 合併 浄化槽 処理水放流先 ● 排水路 ● 側溝 ● 河川
	給湯設備 ● 局所式 ( ● ガス ● 油 ● 電気 ) ● 中央式 ( ● 油 ● ガス )
● 消火設備	● 屋内消火栓 ● 屋外消火栓 ● 連結送水管 ● 連結放水 ● スプリンクラー ● 泡消火 ● 粉末消火装置
	● 不活性ガス消火 ( ● 窒素 ● 窒素系 ) ● ハロゲン化物消火
● ガス設備	● 都市ガス ( MJ/Nm <sup>3</sup> ) ● 液化石油ガス

## II. 特記仕様

### 1 一般事項

- 現場説明書、質問回答書、特記仕様書及び図面に記載されていない事項は、すべて◎印の標準仕様等による。
  - ◎ 国土交通省大臣官房官庁営繕部監修「公共建築工事標準仕様書(機械設備工事編)(平成31年版)」(以下「標準仕様書」という。)
  - ◎ 国土交通省大臣官房官庁営繕部監修「公共建築改修工事標準仕様書(機械設備工事編)(平成31年版)」(以下「改修標準仕様書」という。)
  - ◎ 国土交通省大臣官房官庁営繕部監修「公共建築設備工事標準仕様書(機械設備工事編)(平成31年版)」(以下「標準図」という。)
- 国土交通省大臣官房官庁営繕部監修の「機械設備工事監理指針(令和元年版)」(以下「監理指針」という。)を適用する。
- 電気設備工事及び建築工事を本工事に含む場合、電気設備工事及び建築工事はそれぞれの標準仕様書等及び監理指針を適用する。

### 2 特記事項

- 項目は番号に○印の付いたものを適用する。
- 特記事項のうち選択する事項は◎印の付いたものを適用する。
  - ◎印の付かない場合は、※印の付いたものを適用する。◎印と※印の付いた場合は両方を適用する。
- 一般共通事項のうち(1、2、6、7、10、11、12、13、33、34、36)項は、● 建築 ● 電気設備 工事仕様書による。

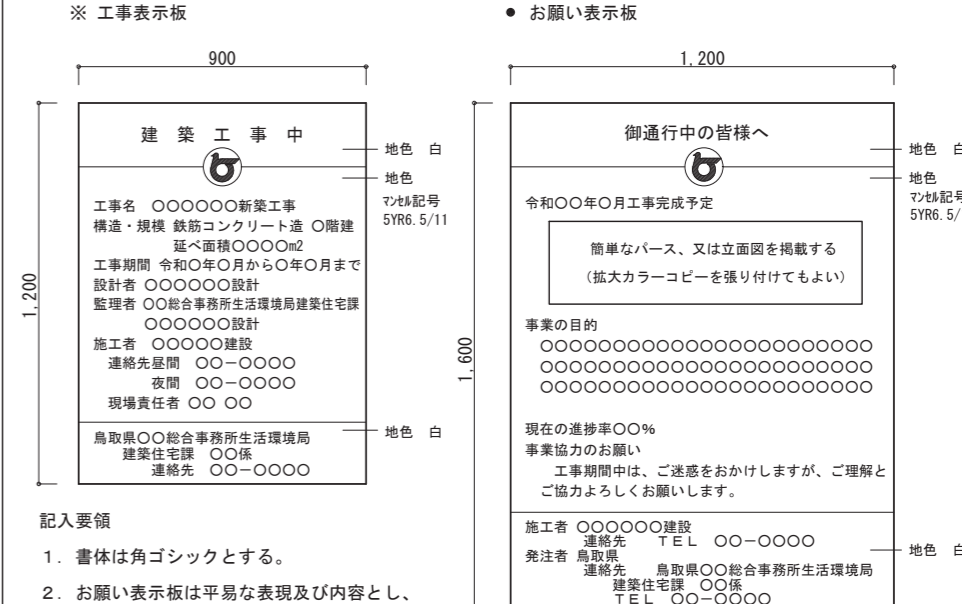
項目	特記事項																					
1 官公署その他への手続	工事の施工に伴い必要な官公署その他への手続、検査並びにその費用は、請負者の負担とする。																					
2 電気保安技術者	工事現場におく電気保安技術者は、鳥取県総務部営繕工事自家用電気工作物保安規程第5条に定める工事担当技術者の職務を補佐し、当該工事の工事期間中自家用電気工作物の保安の業務を行うものとする。なお、電気保安技術者の資格は標準仕様書第1編第1章第3節1.3.2によるものとし、一般用電気工作物にかかる工事についても、自家用電気工作物の場合と同様の業務を行うものとする。																					
3 発生材の処理等	引渡しを要するもの ※ 無し ● 有り ( ) 特別管理産業廃棄物 ※ 無し ● 有り ( ● 配管用保温材 ) アスベスト含有設備資材機材(ガスケット、パッキン、たわみ継手等)は関係法令に従い適切に処理を行う。 再生資源の利用を図るもの ※ 無し ● 有り ( ● コンクリート塊 ● アスファルトコンクリート塊 ) ● 建設発生木材 )																					
4 機材等	イ) 本工事に使用する機材等は、設計図書に規定するもの又はこれらと同等以上の品質及び性能を有するものとする。 ロ) (一社)公共建築協会発行の「建築材料・設備機材等品質性能評価事業 設備機材等評価名簿」による場合は評価書の写しを監督職員に提出するものとする。																					
5 機材の品質・性能証明	JISマーク等のある機材を使用する場合は、標準仕様書第1編第1章第4節1.4.2(c)の品質及び性能を有することの証明となる資料の提出を省略できる。ただし、標準仕様書に規定される製作図、試験成績等は除く。																					
6 施工図等	提出した施工図等の著作権に係わる当該建物に限る使用権は発注者に移譲するものとする。																					
7 完成写真等	国土交通省大臣官房官庁営繕部監修の「営繕工事写真撮影要領(平成24年版)・同解説 建築設備編」によるほか監督職員の指示による。下記のものを出し提出する。 <table border="1"><thead><tr><th>区分</th><th>分類・規格</th><th>撮影箇所</th><th>部数</th><th>電子データの提出</th></tr></thead><tbody><tr><td>工事写真</td><td>カラーサービス判</td><td>各工種工程毎</td><td>※ 1部 ● 部</td><td>◎ 要 ● 不要</td></tr><tr><td>完成写真</td><td>カラーサービス判</td><td>監督職員の指示による</td><td>※ 2部 ● 部</td><td>◎ 要 ● 不要</td></tr></tbody></table>	区分	分類・規格	撮影箇所	部数	電子データの提出	工事写真	カラーサービス判	各工種工程毎	※ 1部 ● 部	◎ 要 ● 不要	完成写真	カラーサービス判	監督職員の指示による	※ 2部 ● 部	◎ 要 ● 不要						
区分	分類・規格	撮影箇所	部数	電子データの提出																		
工事写真	カラーサービス判	各工種工程毎	※ 1部 ● 部	◎ 要 ● 不要																		
完成写真	カラーサービス判	監督職員の指示による	※ 2部 ● 部	◎ 要 ● 不要																		
8 完成図等	次の図書を工事の完成引渡し時に監督職員に提出する。 <table border="1"><thead><tr><th>区分</th><th>名称</th><th>部数</th></tr></thead><tbody><tr><td>※ 完成原因図</td><td>完成図 ● 原紙 ◎ CADデータ ◎ PDFデータ 施工図 ● 原紙 ◎ CADデータ ◎ PDFデータ</td><td>1部</td></tr><tr><td>※ 完成図 2つ折製本</td><td>◎ 完成図 ◎ 完成図(縮小版) ● 施工図</td><td>※ 2部 ● 部</td></tr><tr><td>※ 完成図書</td><td>◎ 完成図(縮小版) ◎ 主要機器図 ◎ 試験成績書</td><td>※ 2部 ● 部</td></tr><tr><td>※ 保守用説明書 (A4版ファイル)</td><td>※ 保守に関する指導案内書 ※ 機器取扱説明書 ※ 主要機器一覧表</td><td>※ 2部 ● 部</td></tr><tr><td>※ 保証書</td><td></td><td>1部</td></tr><tr><td>※ 官公署の届出書類</td><td></td><td>1部</td></tr></tbody></table>	区分	名称	部数	※ 完成原因図	完成図 ● 原紙 ◎ CADデータ ◎ PDFデータ 施工図 ● 原紙 ◎ CADデータ ◎ PDFデータ	1部	※ 完成図 2つ折製本	◎ 完成図 ◎ 完成図(縮小版) ● 施工図	※ 2部 ● 部	※ 完成図書	◎ 完成図(縮小版) ◎ 主要機器図 ◎ 試験成績書	※ 2部 ● 部	※ 保守用説明書 (A4版ファイル)	※ 保守に関する指導案内書 ※ 機器取扱説明書 ※ 主要機器一覧表	※ 2部 ● 部	※ 保証書		1部	※ 官公署の届出書類		1部
区分	名称	部数																				
※ 完成原因図	完成図 ● 原紙 ◎ CADデータ ◎ PDFデータ 施工図 ● 原紙 ◎ CADデータ ◎ PDFデータ	1部																				
※ 完成図 2つ折製本	◎ 完成図 ◎ 完成図(縮小版) ● 施工図	※ 2部 ● 部																				
※ 完成図書	◎ 完成図(縮小版) ◎ 主要機器図 ◎ 試験成績書	※ 2部 ● 部																				
※ 保守用説明書 (A4版ファイル)	※ 保守に関する指導案内書 ※ 機器取扱説明書 ※ 主要機器一覧表	※ 2部 ● 部																				
※ 保証書		1部																				
※ 官公署の届出書類		1部																				
9 技能士の適用	◎ 原図ケース・製本図面の背表紙に「施設コード・部局名称」ラベルを貼り付ける。 下記により適用する技能士は、適用する工事作業中、1名以上の者が自ら作業をするともに他の技能者に対して施工品質の向上を図るための作業指導を行う。また、そのものが技能士であることが分かる名札(下図参考)を常時着用する。 ◎ 配管 ( ◎ 1級 ● 2級 ) ◎ 熱絶縁施工 ( ● 1級 ◎ 2級 ) ● 冷凍空調と機器施工 ( ● 1級 ● 2級 ) ● 建築板金 ( ● 1級 ● 2級 ) <table border="1"><caption>《技能士名札参考図》</caption><tr><td>90 mm</td><td>55 mm</td></tr><tr><td colspan="2">技能士の職種により色を変えることも可</td></tr><tr><td colspan="2">技能士の種別</td></tr><tr><td colspan="2">技能士の級別</td></tr><tr><td colspan="2">技能士本人の住所地</td></tr><tr><td colspan="2">名札の発行元</td></tr><tr><td colspan="2">職種 配管 作業名 建築配管作業 級別 1級 氏名 ○山○夫 勤務先 ○○工務店 自宅 鳥取市 技能士番号 00-0-000-00-0000 発行 ○○○○○○○○印</td></tr><tr><td colspan="2">主要事項(職種、作業名、級別、氏名、住所地、技能士番号、発行元、本人写真)が記載してあればレイアウトは問わない。</td></tr></table>	90 mm	55 mm	技能士の職種により色を変えることも可		技能士の種別		技能士の級別		技能士本人の住所地		名札の発行元		職種 配管 作業名 建築配管作業 級別 1級 氏名 ○山○夫 勤務先 ○○工務店 自宅 鳥取市 技能士番号 00-0-000-00-0000 発行 ○○○○○○○○印		主要事項(職種、作業名、級別、氏名、住所地、技能士番号、発行元、本人写真)が記載してあればレイアウトは問わない。						
90 mm	55 mm																					
技能士の職種により色を変えることも可																						
技能士の種別																						
技能士の級別																						
技能士本人の住所地																						
名札の発行元																						
職種 配管 作業名 建築配管作業 級別 1級 氏名 ○山○夫 勤務先 ○○工務店 自宅 鳥取市 技能士番号 00-0-000-00-0000 発行 ○○○○○○○○印																						
主要事項(職種、作業名、級別、氏名、住所地、技能士番号、発行元、本人写真)が記載してあればレイアウトは問わない。																						

## 10 他工事との取合

- 11 工事用水・電力・その他
- 12 表示板
- 13 工事用仮設備
- 14 土工
- 15 耐震措置
- 16 図形等の表示
- 17 電気容量及び機器表示
- 18 保温工事

他工事との取合		合併工事の場合は工種区分とする。			
		建築	電気設備	機械設備	
● コンクリート壁、床、梁貫通部	スリーブ・箱入補強	● ● ※	● ● ●	● ● ●	
● 鉄骨造の開口及び補強		※ ● ●	● ● ●	● ● ●	
● 照明器具・幹線等の吊りボルト用インサート(くぎ処理)		● ● ※	● ● ●	● ● ●	
● 軽量鉄骨壁のボックス取付用下地		● ● ※	● ● ●	● ● ●	
● 埋込分電盤・端子盤・フルボックスの仮枠及び埋込部分の補強	仮枠補強	● ● ※	● ● ●	● ● ●	
● O.Aフロア・フリーアクセスフロアの切込み及び補強		※ ● ●	● ● ●	● ● ●	
● 埋込形機器取付用の天井・壁の切込加工及び下地の補強	切り込み補強	● ● ● ※	● ● ●	● ● ●	
● 自動閉閉装置を取付ける防火戸の切込み、補強及びドアクローザ、フロアヒンジ		※ ● ●	● ● ●	● ● ●	
● 電気室、自家発電室などの基礎及びピット(蓋を含む)		※ ● ●	● ● ●	● ● ●	
● 天井点検口		※ ● ●	● ● ●	● ● ●	
● 機器類のコンクリート基礎	屋内・屋外設置	● ● ● ※	● ● ●	● ● ●	
	屋上設置	※ ● ●	● ● ●	● ● ●	
● 機器付属の制御盤及び操作盤から機器までの配線		● ● ● ※	● ● ●	● ● ●	
● 機器用コントロールスイッチ(空調機、給湯器等)の取付及び配線		● ● ● ※	● ● ●	● ● ●	

本工事に必要な工事用電力、水及び諸手続きなどの費用はすべて受注者の負担とする。  
設ける。(寸法等は下図による。建築工事、電気設備工事等と一緒に表示する。)



- 記入要領
- 書体は角ゴシックとする。
  - お願い表示板は平易な表現及び内容とし、監督員が指示するものとする。
- 構内に作ることが ◎ 出来ない
- (ア) 埋め戻し土 ◎ 根切土のなかの良質土 ( ◎ コンクリート管以外の管の周囲は山砂の類 )
- 山砂の類 ( )
  - 真砂土 ( )
- (イ) 建設発生土処分 ◎ 構外に搬出 ● 構内に敷ならし ● 構内の指示する場所に堆積
- 「官庁施設の総合耐震計画基準及び同解説・平成8年版」(建設大臣官房官庁営繕部監修)によることとし、施工は「建築設備耐震設計・施工指針2014年版」(国土交通省国土技術政策総合研究所・(独)建築研究所監修)による。設計用水平地震力は、機器の荷重(kN)に、地域係数、設計用標準水平震度を乗じたものとする。

設置場所	機器種別	● 特定の施設		◎ 一般の施設	
		● 重要機器	● 一般機器	◎ 重要機器	◎ 一般機器
屋上・塔屋	機器	2.0	1.5	1.5	1.0
	防護設置機器	2.0	2.0	2.0	1.5
中間階	水槽類	2.0	1.5	1.5	1.0
	機器	1.5	1.0	1.0	0.6
地階・1階	防護設置機器	1.5	1.5	1.5	1.0
	水槽類	1.5	1.0	1.0	0.6
	機器	1.0	0.6	0.6	0.4
	防護設置機器	1.0	1.0	1.0	0.6
	水槽類	1.5	1.0	1.0	0.6

重要機器 ● 防災機器 ● 火気を使用する機器 ◎ タンク類  
注) 設計用鉛直地震力は水平地震力の1/2とし、水平地震力と同時に働くものとする。

機器類は、図示する形状、配管などの取出し位置及び製造品番により、特定製造者の製品を指示、限定しない。  
電動機出力、燃料消費量等は、原則として図面に記載されている値以下とする。  
機器類の能力、容量等は、原則として表示された値以上とする。

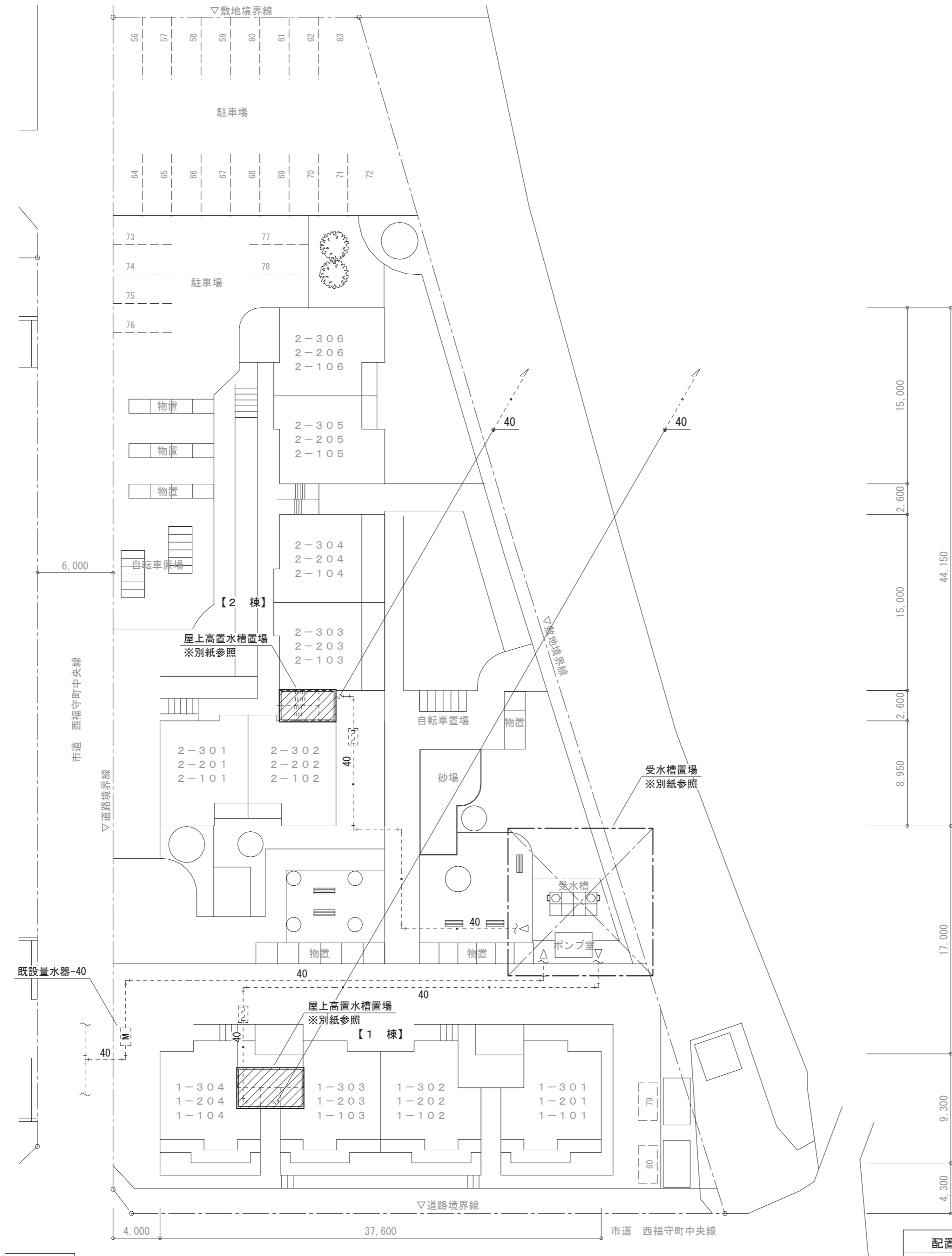
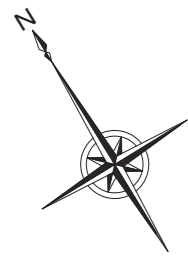
- 冷温水管 ( ● ロックウール ● グラスウール ● ポリスチレンフォーム )
- 蒸気管 ( ● ロックウール ● グラスウール )
- ◎ 給水管 ( ● ロックウール ● グラスウール ◎ ポリスチレンフォーム )
- 排水管 ( ● ロックウール ● グラスウール ● ポリスチレンフォーム ● 保温チューブ10t )
- 給湯管 ( ● ロックウール ● グラスウール )
- 消火管 ( ● ロックウール ● グラスウール ● ポリスチレンフォーム )
- ダクト ( ● ロックウール ● グラスウール )
- 燃焼熱源等機械室内の配管 ( ● ロックウール ● グラスウール )
- 全熱交換機の室外側ダクト ( ● 機器外気側 ● 機器排気側 ) は保温(グラスウール25mm厚)する。
- 冷媒管の保温外装 屋内 ( ● 樹脂製化粧ケース ● 合成樹脂製シート ● カラー鉄板 )  
屋外 ( ● 樹脂製化粧ケース ● SUS鋼板 )



一 般 共 通 事 項	19 鋼管類の防食処置 20 絶縁継手 21 防振継手 22 伸縮管継手 ⑳ 塗装	<p>地中埋設</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● ベトロラム系</li> <li>● プレコン系</li> <li>● 熱収縮チューブ及びシート</li> </ul> <p>● 標準図 施工3 ( ● (1)絶縁フランジ ● (2)絶縁シート )</p> <p>※ 合成ゴム製 (球形) ● ポリテトラフルオロエチレン製 ● ペローズ形 (ステンレス製)</p> <p>※ ペローズ形 ● スリーブ形</p> <p>各種機材のうち、下記の部分は塗装しない。(さび止め塗装は除く。)</p> <p>(ア)埋設されるもの (ただし、防食塗装部分を除く)</p> <p>(イ)垂鉛めっき以外のめっき仕上げ面</p> <p>(ウ)垂鉛めっきされたもので、常時隠へいされる部分</p> <p>(エ)垂鉛めっきされた金属電線管、鋼製架台及び支持金物類</p> <p>(オ)樹脂コーティング等を施したもので、常時隠へいされる部分</p> <p>(カ)カラー亜鉛鉄板面</p> <p>(キ)アルミ、ステンレス、銅、溶融アルミニウム-亜鉛鉄板面、合成樹脂製等、特に塗装の必要を認められない面</p> <p>(ク)特殊な意匠的表面仕上げ処理を施した面</p> <p>(ケ)主・各階機械室内等及び電気室内の垂鉛めっきされた露出ダクト及び露出配管</p> <p>● 上記及び標準仕様書によらず塗装を施す部分・箇所 ( )</p>	12 ファンコイルユニット 13 ダンパー	<ul style="list-style-type: none"> <li>※ 流量調整弁</li> <li>● 定流量弁 ( ● ダイアフラム式流量可変式 ● カートリッジオリフィス形 ) を取付ける。</li> <li>イ) 防煙ダンパー ● 電気式 遠隔復帰式 ●</li> <li>ロ) ピストンダンパー ※ 遠隔復帰式 ●</li> </ul> <p>電気式防煙ダンパーの動作電圧、電流はDC24V、0.7A以下とする。</p>	⑧ 排 水 設 備	① 配管材料	(ア)屋内汚水管 ● VP ● RF-VP ● 排水用塩ビライニング鋼管 ● 耐火二層管 (イ)屋内雑排水管 ● VP ● RF-VP ● SGP (白) ● 排水用塩ビライニング鋼管 ● 耐火二層管 (ウ)ポンプ排水管 ● VP (水道用) ● HIVP ● 排水用塩ビライニング鋼管 (圧送排水管用継手) (エ)通気管 ● VP ● RF-VP ● SGP (白) ● 排水用塩ビライニング鋼管 (オ)屋外排水管 ● VP ● RF-VP ● VU (地中) ● REP-VU (地中) ● RS-VU ● 鋼形管 ● コンクリート管 ● カラーVP																																							
	24 ステンレス鋼管の接合方法 25 溶接配管の検査	<p>呼び径75mm以上の継手は ● 溶接継手 ● ハウジング形継手 ● フランジ接合</p> <p>● ガス配管 ● 冷温水配管 ● 冷却水配管</p> <p>非破壊検査の適用 ( ● 放射線透過検査 ● 浸透探傷検査又は磁粉探傷検査 )</p> <p>抜 取 率 ( ● 標準仕様書による ● % )</p> <p>◎ 地中埋設標を明示する箇所に設ける。</p> <p>◎ 埋設表示用テープを埋設する。( ● ガス管 ◎ 屋外給水管 ● )</p> <p>ポンプ、屋外設置機器及びビット内に使用するアンカーボルト、ナットはSUS304製とする。</p> <p>屋外及びビット内の配管、ダクトに使用する支持金物等はステンレス製または溶融亜鉛めっき仕上げとする。</p> <p>下記事項の総合調整を行い、測定結果を監督職員に提出する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 温度 ● 湿度 ● 風量 ● 騒音 ● 水量 ● 浄化槽放流水質</li> <li>● 風速 ● じんあい ◎ 飲料水水質 ( ◎ 一般飲料水適合検査 ● )</li> </ul> <p>建築改修標準仕様書 9章 環境配慮改修工事 1節 アスベスト含有建材の処理工事による。</p> <p>処理を行うアスベスト含有建材の仕様等</p> <table border="1"> <tr> <th>建材の内容・箇所</th> <th>仕様等</th> <th>処理を行う範囲</th> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table> <p>※ 異有施設石綿除去等に係る施工業者の登録制度による登録を受けている業者を活用するものとする。</p> <p>※ 官公署その他への手続きは、建築改修標準仕様書ほか、労働安全衛生法、大気汚染防止法、廃棄物の処理及び清掃に関する法律、石綿障害予防規則、鳥取県石綿健康被害防止条例等の関係法令に基づいて行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 施工調査 (分析によるアスベスト含有建材の調査) を行う。</li> <li>● 分析方法はJISA1481「建材製品中のアスベスト含有率測定方法」による。</li> <li>● アスベスト粉じん濃度測定を行う。</li> </ul> <p>(測定時期: ● 測定場所: ● 測定点: ● )</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 洗浄設備 (洗眼、うがいの設備) 及び更衣設備等を設ける。</li> <li>● 作業場の養生として、処理場所をプラスチックシート等で囲い、外部への粉じん飛散を防止する。</li> </ul>	建材の内容・箇所	仕様等		処理を行う範囲										17 消音内貼り	<ul style="list-style-type: none"> <li>※ 低圧ダクト ● 高圧1ダクト ● 高圧2ダクト</li> <li>● 長方形ダクト ※ コーナーボルト工法 ( ● 共板工法 ● スライドオンフランジ工法 )</li> <li>● 長辺1500mmを超えるもの ※ アンクルフランジ工法</li> <li>● 防火区画を貫通するダクトは、その貫通する部分の前後150mmを1.6mm厚鋼板製とする。</li> </ul> <p>ボックス ※ 亜鉛鉄板製 ● グラスウール製</p> <p>シーリングディフューザーの接続は、標準図 (施工47) を参考とする。</p> <p>接続するダクトが施工が困難な場合はフレキシブルダクトを使用してもよい。</p> <p>線状吹出口には、(長さ+100) × 300 × 300OHの接続チャンパーを設ける。</p> <p>吹出口に面するガラリにチャンパー等を設ける場合には、雨水等を自然に排出できるよう勾配をつける。</p> <p>吹出口接続チャンパー及び図示したダクト並びにチャンパー類に内貼りする。</p> <p>内貼りチャンパー類の寸法は、外法寸法とする。</p> <p>吹出口接続チャンパー以外の内貼りしたチャンパーには点検口 (原則400×600) を取付ける。</p> <p>形式はピトー管式 (コック付) とする。 ● 着脱式 ● 固定式</p>	9 給湯設備	1 配管材料	<ul style="list-style-type: none"> <li>● SGP-HVA ● ステンレス鋼管 ● 架橋ポリエチレン管</li> <li>● 保温付被覆鋼管 ● 鋼管</li> </ul> <p>湯沸器、給湯機廻りの付属配管等は製造業者標準品とする。</p> <p>※ JIS又はJV5K ● JIS又はJV10K</p>																										
	建材の内容・箇所	仕様等	処理を行う範囲																																											
	⑳ 埋設表示 ㉑ 支持金物・固定金具 ㉒ 総合調整	<p>◎ 埋設表示用テープを埋設する。( ● ガス管 ◎ 屋外給水管 ● )</p> <p>ポンプ、屋外設置機器及びビット内に使用するアンカーボルト、ナットはSUS304製とする。</p> <p>屋外及びビット内の配管、ダクトに使用する支持金物等はステンレス製または溶融亜鉛めっき仕上げとする。</p> <p>下記事項の総合調整を行い、測定結果を監督職員に提出する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 温度 ● 湿度 ● 風量 ● 騒音 ● 水量 ● 浄化槽放流水質</li> <li>● 風速 ● じんあい ◎ 飲料水水質 ( ◎ 一般飲料水適合検査 ● )</li> </ul> <p>建築改修標準仕様書 9章 環境配慮改修工事 1節 アスベスト含有建材の処理工事による。</p> <p>処理を行うアスベスト含有建材の仕様等</p> <table border="1"> <tr> <th>建材の内容・箇所</th> <th>仕様等</th> <th>処理を行う範囲</th> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table> <p>※ 異有施設石綿除去等に係る施工業者の登録制度による登録を受けている業者を活用するものとする。</p> <p>※ 官公署その他への手続きは、建築改修標準仕様書ほか、労働安全衛生法、大気汚染防止法、廃棄物の処理及び清掃に関する法律、石綿障害予防規則、鳥取県石綿健康被害防止条例等の関係法令に基づいて行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 施工調査 (分析によるアスベスト含有建材の調査) を行う。</li> <li>● 分析方法はJISA1481「建材製品中のアスベスト含有率測定方法」による。</li> <li>● アスベスト粉じん濃度測定を行う。</li> </ul> <p>(測定時期: ● 測定場所: ● 測定点: ● )</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 洗浄設備 (洗眼、うがいの設備) 及び更衣設備等を設ける。</li> <li>● 作業場の養生として、処理場所をプラスチックシート等で囲い、外部への粉じん飛散を防止する。</li> </ul>	建材の内容・箇所	仕様等		処理を行う範囲										19 定風量・変風量ユニット 20 温度計 21 冷温水管の空気抜き	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 冷凍機類の冷水出口 ● 瞬間流量計 ● 測定用タッピング</li> <li>● 冷凍機類の冷却水出口 ● 瞬間流量計 ● 測定用タッピング</li> <li>● ボイラー又は熱交換器の温水出口 ● 瞬間流量計 ● 測定用タッピング</li> <li>● 冷温水ヘッダーの各送り管 ● 瞬間流量計 ● 測定用タッピング</li> <li>● ユニツト形空気調和機の冷温水入口 ● 瞬間流量計 ● 測定用タッピング</li> <li>● メカニカル形 ● 風速センサー形</li> </ul> <p>機器付属以外の温度計 ※ 工業用バイメタル式 ● ガード付L形温度計</p> <p>空気溜りを生ずると思われる配管箇所には、必要に応じて操作の容易な位置に空気抜き弁装置を設ける。</p> <p>※ 手動 ● 自動</p> <p>自動空気抜き弁装置は標準図による。(施工36(6))</p> <p>機械室の手動式空気抜き配管の保温は分岐から2mの範囲とする。</p> <p>トラップ形式はフオートボール式 (床置型) ※ FRP製保温型 ● FRP製 ● SUS製</p> <p>材質及び厚さ ● SS400 ( ※ 3.2mm ● 4.5mm ) ● SUS ( ※ 1.5mm ● 2.0mm )</p> <p>煤煙濃度計 ● 取付ける ● 取付けない ● 取付座を付ける</p> <p>煤じん量測定口 (80φ×2) ※ 取付ける ● 取付けない</p> <p>油面計はゲージ式 (側圧型) とする。</p> <p>据付け方法は標準図 ● 施工30 (二重殻タンク・タンク室無し) ● 施工31 (タンク室有り)</p> <p>タンクの保護被覆 ※ 強化プラスチック ● エポキシ樹脂 ● アスファルト</p> <p>基礎杭 ※ 不要 ● 要 ( ※ 別途工事 ● 本工事 )</p> <p>土留め工事 ● 要 ● 不要</p> <p>タンクローリー用アース端子を設ける。</p> <p>油面制御装置の機能 ● 給油ポンプの起動停止 ● 満油警報 ● 減油警報 ●</p> <p>● 機器表特記による。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 空気調和機のフィルターは、ロールの場合は1本、ユニットの場合は1セットを付属品として納入する。</li> </ul> <p>インバーター機の表示された能力は、型番で選定する。</p> <p>標準仕様書によるほか、中央機械室の冷却水管、冷温水管等の吊り及び支持は防振吊り金物又は防振支持金物で行う。</p>	10 消火設備	1 配管材料	(ア)一般配管 ● SGP (白) ● STPG (イ)土間下配管 ● SGP-VS ● STPG-VS (ウ)屋外埋設配管 ● SGP-VS ● STPG-VS																										
	建材の内容・箇所	仕様等	処理を行う範囲																																											
29 アスベスト含有建材の処理	<p>処理を行うアスベスト含有建材の仕様等</p> <table border="1"> <tr> <th>建材の内容・箇所</th> <th>仕様等</th> <th>処理を行う範囲</th> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table> <p>※ 異有施設石綿除去等に係る施工業者の登録制度による登録を受けている業者を活用するものとする。</p> <p>※ 官公署その他への手続きは、建築改修標準仕様書ほか、労働安全衛生法、大気汚染防止法、廃棄物の処理及び清掃に関する法律、石綿障害予防規則、鳥取県石綿健康被害防止条例等の関係法令に基づいて行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 施工調査 (分析によるアスベスト含有建材の調査) を行う。</li> <li>● 分析方法はJISA1481「建材製品中のアスベスト含有率測定方法」による。</li> <li>● アスベスト粉じん濃度測定を行う。</li> </ul> <p>(測定時期: ● 測定場所: ● 測定点: ● )</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 洗浄設備 (洗眼、うがいの設備) 及び更衣設備等を設ける。</li> <li>● 作業場の養生として、処理場所をプラスチックシート等で囲い、外部への粉じん飛散を防止する。</li> </ul>	建材の内容・箇所	仕様等	処理を行う範囲										22 空調機用トラップ 23 銅板製煙道	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 瞬間流量計 ● 測定用タッピング</li> <li>● 瞬間流量計 ● 測定用タッピング</li> <li>● 瞬間流量計 ● 測定用タッピング</li> <li>● 瞬間流量計 ● 測定用タッピング</li> </ul> <p>● 瞬間流量計 ● 測定用タッピング</p>	11 ガス設備	1 配管材料	(ア)一般配管 ※ SGP (白) ● 合成樹脂被覆鋼管 (イ)土間下配管 ※ 合成樹脂被覆鋼管 (ウ)屋外埋設配管 ※ 合成樹脂被覆鋼管 ● ガス用ポリエチレン管																												
建材の内容・箇所	仕様等	処理を行う範囲																																												
㉓ 補修など 31 はつり 32 はつり工事における非破壊検査 33 足場	<p>工事の施工に伴い既成部分を汚染又は損傷した場合は、既成にならぬ補修する。</p> <p>既存のコンクリート床、壁などの配管貫通部の穴開けは、原則としてダイヤモンドカッターによる。</p> <p>調査方法 ※ 電磁誘導式 ● 放射線透過検査</p> <p>足場の設置は、「手すり先行工法に関するガイドラインについて」(厚労省 基発第0424001号平成21年4月24日)の「手すり先行工法等に関するガイドライン」により、「働きやすい安心感のある足場に関する基準」に適合する足場とし、足場の組立て等の作業は、「手すり先行工法による足場の組立て等に関する基準」の2の(2)手すり据置方式又は(3)手すり先行専用足場方式により行う。</p>	24 定風量・変風量ユニット 25 温度計 26 油面制御装置 27 フィルター等付属品	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 瞬間流量計 ● 測定用タッピング</li> <li>● 瞬間流量計 ● 測定用タッピング</li> <li>● 瞬間流量計 ● 測定用タッピング</li> <li>● 瞬間流量計 ● 測定用タッピング</li> </ul> <p>● 瞬間流量計 ● 測定用タッピング</p>	12 浄化槽設備	1 処理種別及び方式	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 小規模合併処理 ( ● 分離接触ばっ気方式 ● 嫌気ろ床接触ばっ気方式 ● 脱窒ろ床接触ばっ気方式 ● その他性能評価を受けた方式 ( ) )</li> <li>● 合併処理 ( ● 接触ばっ気方式 ● 長時間ばっ気方式 ● 回転接触方式 )</li> </ul> <ul style="list-style-type: none"> <li>● ユニツト型 ● 現場施工型</li> </ul> <p>● 処理対象人員 人 ● 処理水量 m<sup>3</sup>/d</p> <p>● 流入BOD 200mg/L ● 放流水質BOD 20mg/L以下</p> <p>● T-N mg/L以下 ● T-P mg/L以下</p> <p>※ 自然流下 ● ポンプ排水</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 砂 ● 根切土の中の良質土</li> <li>● 不要 ● 要 (図示による)</li> </ul> <p>※ 製造者標準仕様 (ロック式) ● MHA型 (ボルト式)</p> <p>3ヶ月相当分を納入する。</p>																																								
34 工事安全計画書等 35 室内空気中の化学物質の濃度測定 ㉔ 火災保険等	<p>建設工事公衆災害防止対策要綱及び建築工事安全施工技術指針を参考に工事安全計画書を作成し監督職員に提出する。</p> <p>実施する。</p> <p>工事目的物及び工事材料等工事施工中の事故に伴う損害を補てんするため火災保険等に加入する。</p> <p>(保険の加入期限は、工事完成引渡しまで「概ね工期+21日」とする。)</p> <p>グリーン購入は次のものとする。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 空調用機器 ( パッケージエアコン ) ● 衛生器具 ( )</li> <li>● 断熱材 ( ) ● 配管材 ( ● 再生硬質塩化ビニル管 )</li> </ul>	28 パッケージ空調機の能力表示 29 防振吊り及び支持金物	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 瞬間流量計 ● 測定用タッピング</li> <li>● 瞬間流量計 ● 測定用タッピング</li> <li>● 瞬間流量計 ● 測定用タッピング</li> <li>● 瞬間流量計 ● 測定用タッピング</li> </ul> <p>● 瞬間流量計 ● 測定用タッピング</p>		2 型式 3 処理能力 4 放流水の水質																																									
37 グリーン購入	<p>グリーン購入は次のものとする。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 空調用機器 ( パッケージエアコン ) ● 衛生器具 ( )</li> <li>● 断熱材 ( ) ● 配管材 ( ● 再生硬質塩化ビニル管 )</li> </ul>	4 計装工事の配線	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 有リ (構成機能は、図示による) ● 無し</li> <li>● 要 ( ● 本工事 ● 別途工事 ) ● 不要</li> <li>● 取付高さ ※ 1300mm ● mm</li> <li>● 屋外、屋内露出の配線は、図面に表記のない限り金属管配線とする。</li> <li>● 天井隠へいの配線は、図面に表記のない限りケーブル配線とする。</li> </ul>		5 排水方式 6 埋戻し土 7 土留め工事 8 マンホールふた 9 消毒薬																																									
38 鳥取県公共工事環境配慮指針 39 建築物省エネ法	<p>対象工事</p> <p>対象工事</p>	4 排煙口開放及び復帰方式 4 排煙風量測定	<ul style="list-style-type: none"> <li>※ 節水形 ● 標準形</li> <li>● 自動洗浄 ( ● AC100V ● 乾電池 ) ● 標準形 ● 洗浄水量4リットル/回以下</li> </ul> <p>電源供給方式 ※ AC100V ● 乾電池 ● 自己給電</p> <p>標準図 (施工66) の (b)</p>		5 排水方式 6 埋戻し土 7 土留め工事 8 マンホールふた 9 消毒薬																																									
1 空気調和設備	<table border="1"> <tr> <th rowspan="3"></th> <th colspan="4">外気条件</th> <th colspan="4">室内 (調整目標値)</th> </tr> <tr> <th colspan="2">温度</th> <th colspan="2">湿度</th> <th colspan="2">温度</th> <th colspan="2">湿度</th> </tr> <tr> <th>(DB)</th> <th>(RH)</th> <th>(DB)</th> <th>(RH)</th> <th>(DB)</th> <th>(RH)</th> <th>(DB)</th> <th>(RH)</th> </tr> <tr> <td>夏季</td> <td>℃</td> <td>%</td> <td>28.0</td> <td>℃</td> <td>%</td> <td>℃</td> <td>%</td> </tr> <tr> <td>冬季</td> <td>℃</td> <td>%</td> <td>19.0</td> <td>℃</td> <td>%</td> <td>℃</td> <td>%</td> </tr> </table>		外気条件				室内 (調整目標値)				温度		湿度		温度		湿度		(DB)	(RH)	(DB)	(RH)	(DB)	(RH)	(DB)	(RH)	夏季	℃	%	28.0	℃	%	℃	%	冬季	℃	%	19.0	℃	%	℃	%	4 排煙風量測定	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 有リ (構成機能は、図示による) ● 無し</li> <li>● 要 ( ● 本工事 ● 別途工事 ) ● 不要</li> <li>● 取付高さ ※ 1300mm ● mm</li> <li>● 屋外、屋内露出の配線は、図面に表記のない限り金属管配線とする。</li> <li>● 天井隠へいの配線は、図面に表記のない限りケーブル配線とする。</li> </ul>		5 排水方式 6 埋戻し土 7 土留め工事 8 マンホールふた 9 消毒薬
	外気条件				室内 (調整目標値)																																									
	温度		湿度		温度		湿度																																							
	(DB)	(RH)	(DB)	(RH)	(DB)	(RH)	(DB)	(RH)																																						
夏季	℃	%	28.0	℃	%	℃	%																																							
冬季	℃	%	19.0	℃	%	℃	%																																							
2 冷暖房設備	<ul style="list-style-type: none"> <li>※ SGP (白) ● SGP-VA ● SGP-PA</li> <li>※ SGP (白) ● SGP-HVA ● ステンレス鋼管 (SUS304)</li> <li>● 架橋ポリエチレン管 (ファンコイル機器接続部に限る) ● ポリブテン管 (ファンコイル機器接続部に限る)</li> <li>※ SGP (白) ● ステンレス鋼管 (SUS304)</li> <li>※ SGP (黒)</li> <li>※ STPG370-Sch40 (黒) ● ステンレス鋼管 (SUS304)</li> </ul> <p>一般配管 ※ SGP (黒) 地中配管 ※ 合成樹脂被覆鋼管</p> <p>※ 断熱材被覆鋼管</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● ステンレス鋼管 ● SGP-VA ● SGP-VB</li> <li>※ SGP (白) ● VP</li> <li>※ JIS又はJV5K ● JIS又はJV10K</li> </ul>	5 自動制御設備	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 有リ (構成機能は、図示による) ● 無し</li> <li>● 要 ( ● 本工事 ● 別途工事 ) ● 不要</li> <li>● 取付高さ ※ 1300mm ● mm</li> <li>● 屋外、屋内露出の配線は、図面に表記のない限り金属管配線とする。</li> <li>● 天井隠へいの配線は、図面に表記のない限りケーブル配線とする。</li> </ul>		5 排水方式 6 埋戻し土 7 土留め工事 8 マンホールふた 9 消毒薬																																									
3 換気設備	<ul style="list-style-type: none"> <li>※ SGP (白) ● SGP-VA ● SGP-PA</li> <li>※ SGP (白) ● SGP-HVA ● ステンレス鋼管 (SUS304)</li> <li>● 架橋ポリエチレン管 (ファンコイル機器接続部に限る) ● ポリブテン管 (ファンコイル機器接続部に限る)</li> <li>※ SGP (白) ● ステンレス鋼管 (SUS304)</li> <li>※ SGP (黒)</li> <li>※ STPG370-Sch40 (黒) ● ステンレス鋼管 (SUS304)</li> </ul> <p>一般配管 ※ SGP (黒) 地中配管 ※ 合成樹脂被覆鋼管</p> <p>※ 断熱材被覆鋼管</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● ステンレス鋼管 ● SGP-VA ● SGP-VB</li> <li>※ SGP (白) ● VP</li> <li>※ JIS又はJV5K ● JIS又はJV10K</li> </ul>	6 衛生器具設備	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 有リ (構成機能は、図示による) ● 無し</li> <li>● 要 ( ● 本工事 ● 別途工事 ) ● 不要</li> <li>● 取付高さ ※ 1300mm ● mm</li> <li>● 屋外、屋内露出の配線は、図面に表記のない限り金属管配線とする。</li> <li>● 天井隠へいの配線は、図面に表記のない限りケーブル配線とする。</li> </ul>		5 排水方式 6 埋戻し土 7 土留め工事 8 マンホールふた 9 消毒薬																																									
		7 給水設備	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 有リ (構成機能は、図示による) ● 無し</li> <li>● 要 ( ● 本工事 ● 別途工事 ) ● 不要</li> <li>● 取付高さ ※ 1300mm ● mm</li> <li>● 屋外、屋内露出の配線は、図面に表記のない限り金属管配線とする。</li> <li>● 天井隠へいの配線は、図面に表記のない限りケーブル配線とする。</li> </ul>		5 排水方式 6 埋戻し土 7 土留め工事 8 マンホールふた 9 消毒薬																																									



Living Environment Technology		CHECK	DRAW	TITLE	DATE	NO.
株式会社 LET				鳥取県知事登録 第29-1348号	2022.03	M 02
一級建築士事務所/建築設備設計事務所				一級建築士 森本博美 第103826号 建築設備士 津津貴文 第24F1-0044N0号	鳥取県知事登録 第103826号 建築設備士登録 第24F1-0044N0号	
				NAME	SCALE	
				県営住宅福守第一団地給水設備改修工事 (1棟・2棟)	- (A2) - (A3)	12
				機械設備工事 特記仕様書 (2)		



付近見取図

工事概要

1. 受水槽 (1・2棟用) : 1基の更新
2. 高置水槽 (1棟用) : 1基の更新
3. 高置水槽 (2棟用) : 1基の更新
4. 上記に伴う配管、配管付属品、電気・自動制御設備更新
5. 工事期間中の仮設給水設備

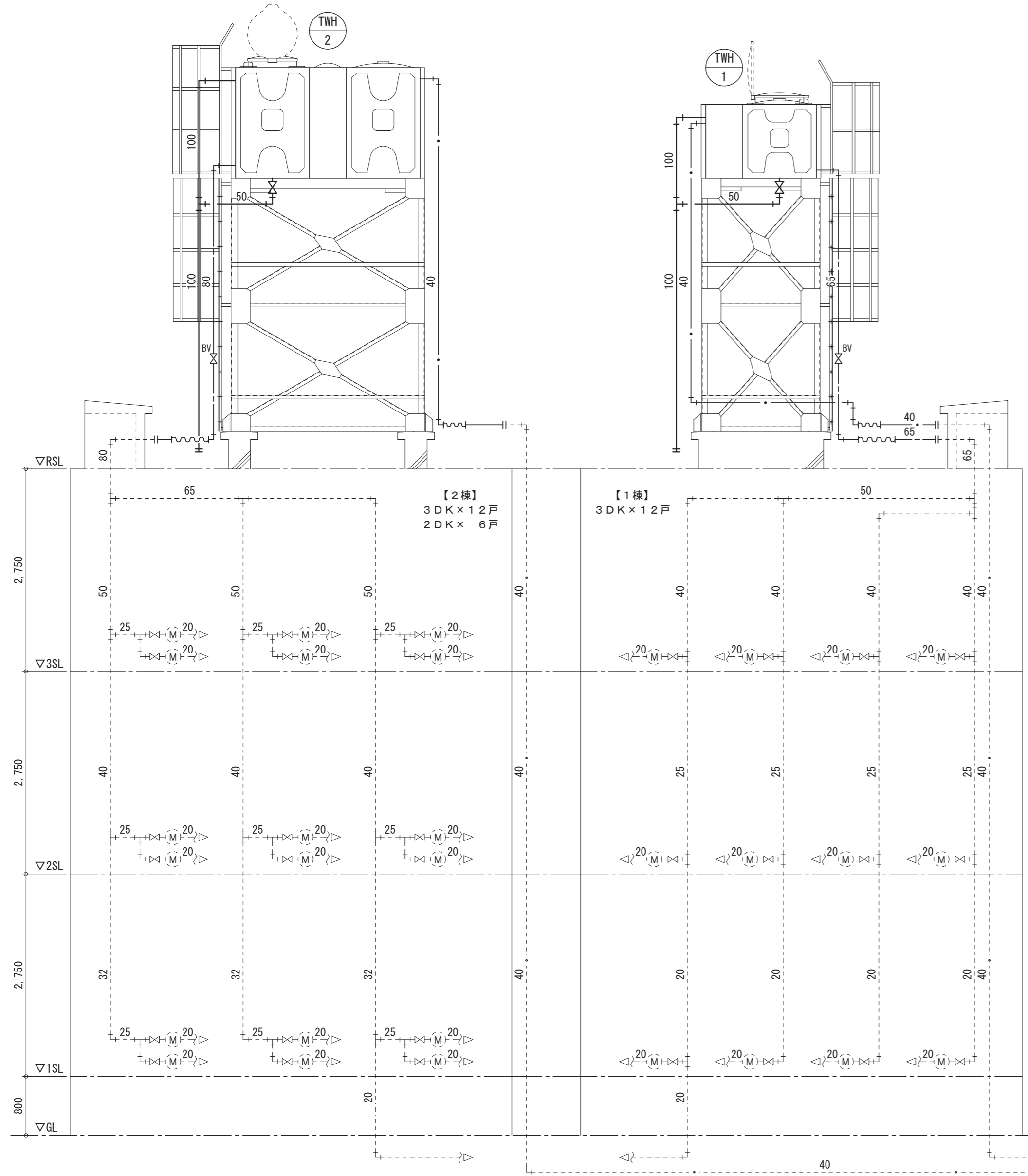
特記事項

1. 工事に際して、施工時間・施工要領・仮設計画の検討打合せを十分に行い、安全確保に配慮すること。
2. 機器搬入搬出等の作業に伴う、仮囲い・養生等の安全対策を徹底し、作業終了後は速やかに整理清掃を行うこと。
3. 切替え等の改修作業に伴う、1回の断水時間は可能な限り短時間で、日中に作業が完了するよう配慮すること。

配置図 S=1/300



Living Environment Technology <b>株式会社 LET</b> 一級建築士事務所 / 建築設備設計事務所	一級建築士事務所 鳥取県知事登録 第29-1348号 管理建築士 森本博美 一級建築士登録 第103826号 建築設備士 池津貴文 建築設備士登録 第24F1-0044N0号	CHECK	DRAW	TITLE	DATE	NO.
				県営住宅福守第一団地給水設備改修工事 (1棟・2棟) 配置図、付近見取図	2022.03 1/300 (A2) 1/423 (A3)	03 M 09



凡例

記号	名称	使用場所	管種	(※既設管種)
—	給水管	地中埋設	耐衝撃性硬質塩化ビニル管 H I V P (JIS K6742)	ポリ粉体ライニング鋼管 S G P - P D
—	揚水管	一般配管	硬質塩化ビニル管 S G P - V B (JWWA K116)	ポリ粉体ライニング鋼管 S G P - P B
—	排水管	地中埋設	硬質塩化ビニル管 V P (JIS K6741)	硬質塩化ビニル管 V P
—		一般配管	硬質塩化ビニル管 V P (JIS K6741)	硬質塩化ビニル管 V P
—	既設管接続	既設管との切離し・接続部分を示す		
---	既設			

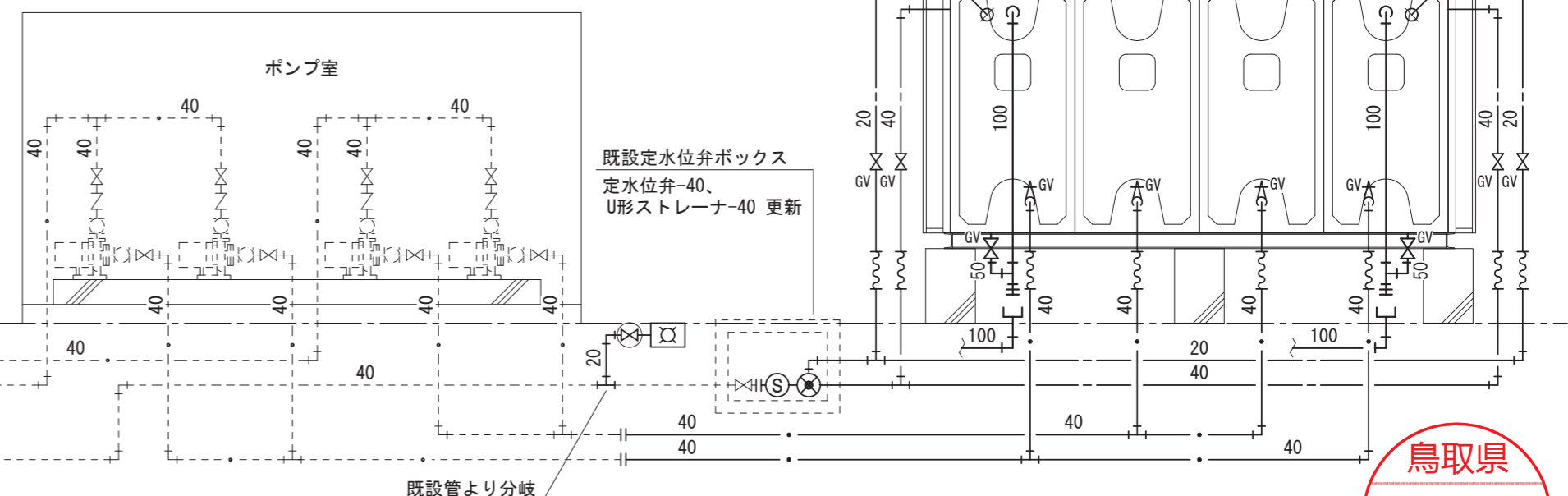
記号	名称	備考
△	ゲート弁	JIS 5K/10K 管端コア付
△	バタフライ弁	JIS 5K/10K ライニング弁(65A以上)
⊗	埋設ゲート弁 (ボックスVC-P共)	JIS 10K
⊗	定水位弁	
⊙	U形ストレーナ	ライニング弁
⊠	散水栓 (ボックスB3-3共)	参考品番: T28KUNH13 (キー式)
~	フレキシブル継手	合成ゴム製
⊙	自動エア抜弁	
⊙	ボールタップ	複式
△	ゲート弁 (排水)	JIS 5K
⊥	防虫網金具	
└	間接排水口	網付
□	埋設表示標	コンクリート製

特記

- 太線は更新機器・配管類を示し、細点線は既設を示す。
- 不要な支持架台・金具類は全て撤去し、モルタル等にて補修を行うこと。
- 既存再利用のコンクリート基礎は、モルタル補修を行うこと。

【2棟】既設揚水ポンプ×2台  
32×80L/min×25m 1.5kW (GN-326-C1.5)

【1棟】既設揚水ポンプ×2台  
32×60L/min×26m 1.5kW (GN-326-C1.5)

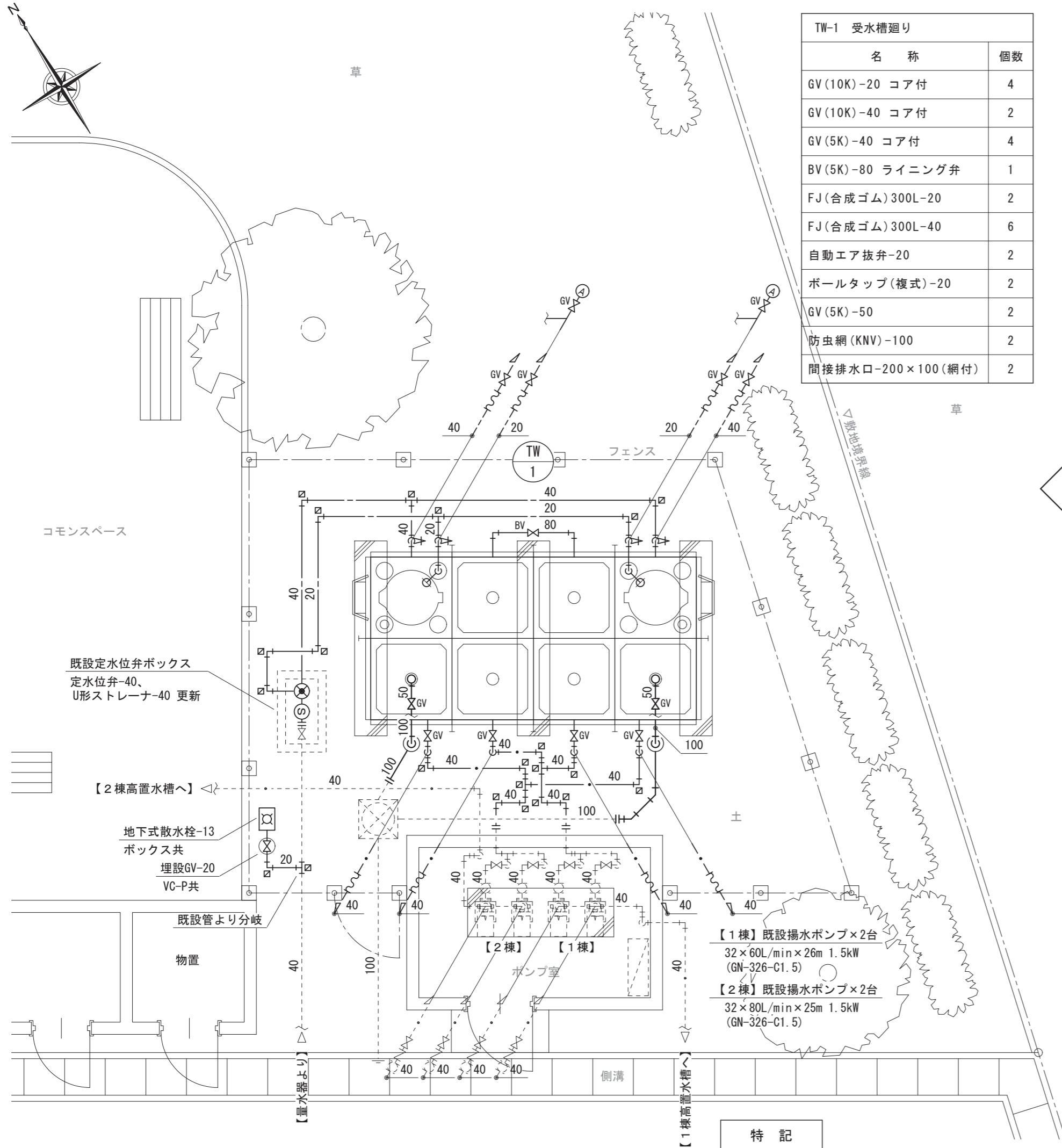


給水設備 系統図

鳥取県  
令和3年度  
J2102020  
中部環境建築  
局

衛生機器表

記号	名称	仕様	数量	備考
TW 1	受水槽	FRP製複合板パネルタンク 2槽式	1	※コンクリート基礎再利用
		国土交通省仕様		
		水槽：4.0×2.0×2.0H（仕切板 2.0×2.0H）		
		呼称：16.0m <sup>3</sup> （有効容量 12.0m <sup>3</sup> ） 耐震強度：1.0G 積雪荷重：100cm		
付属品：鋼製平架台（溶融亜鉛メッキ仕上）、電極座、梯子、マンホール600φ、通気口、配管支持用鋼材、その他付属品共				

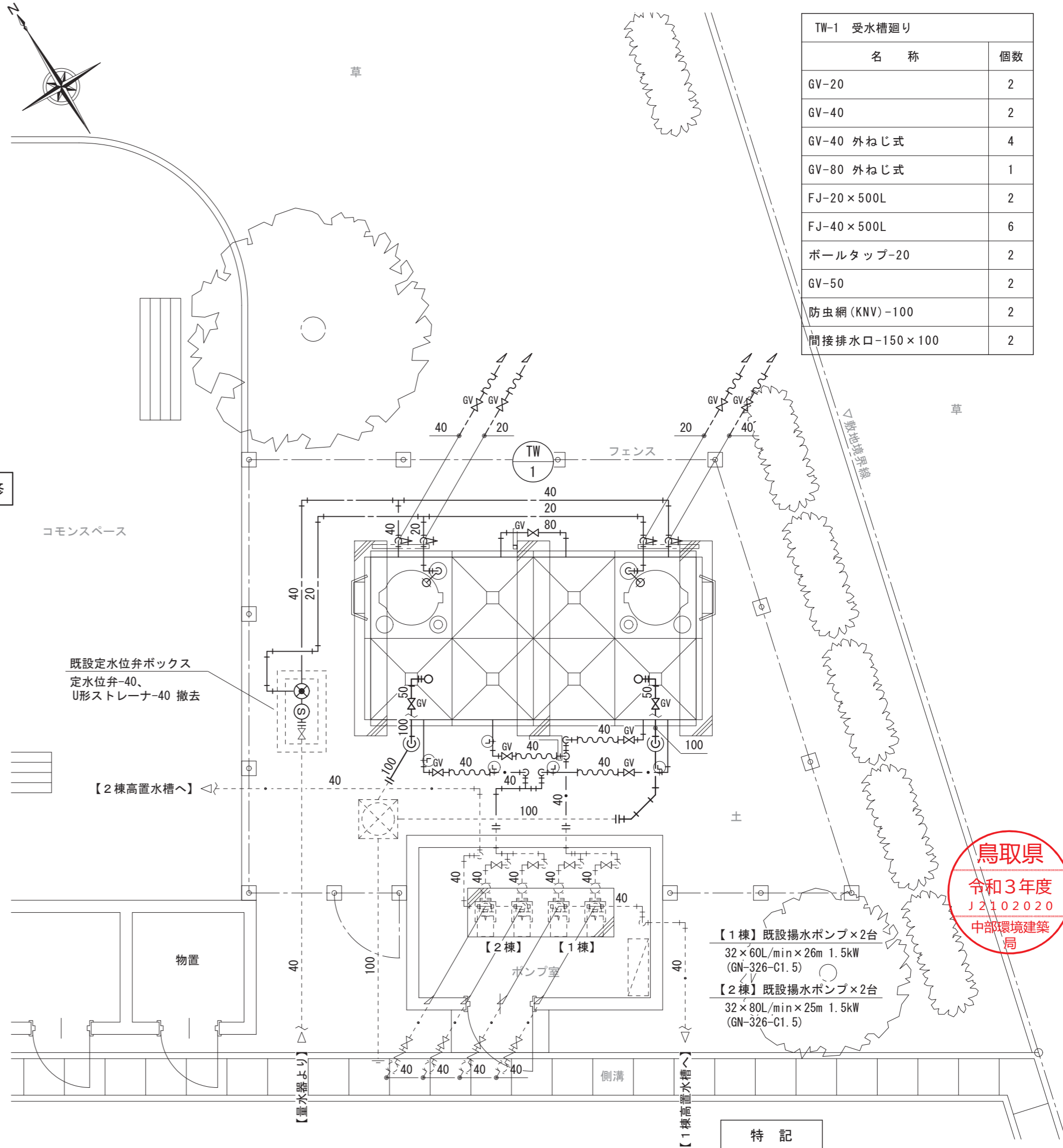


受水槽廻り平面図（改修後）S=1/50

特記  
1. 太線は更新機器・配管類を示し、細点線は既設を示す。

衛生機器表 (撤去)

記号	名称	仕様	数量	備考
TW 1	受水槽	FRP製複合板パネルタンク 2槽式	1	※コンクリート基礎そのまま
		国土交通省仕様		
		水槽：4.0×2.0×2.0H（仕切板 2.0×2.0H）		
		呼称：16.0m <sup>3</sup> 耐震強度：0.6G		
付属品：鋼製平架台（溶融亜鉛メッキ仕上）、電極座、梯子、マンホール600φ、通気口、その他付属品共				



受水槽廻り平面図（改修前）S=1/50

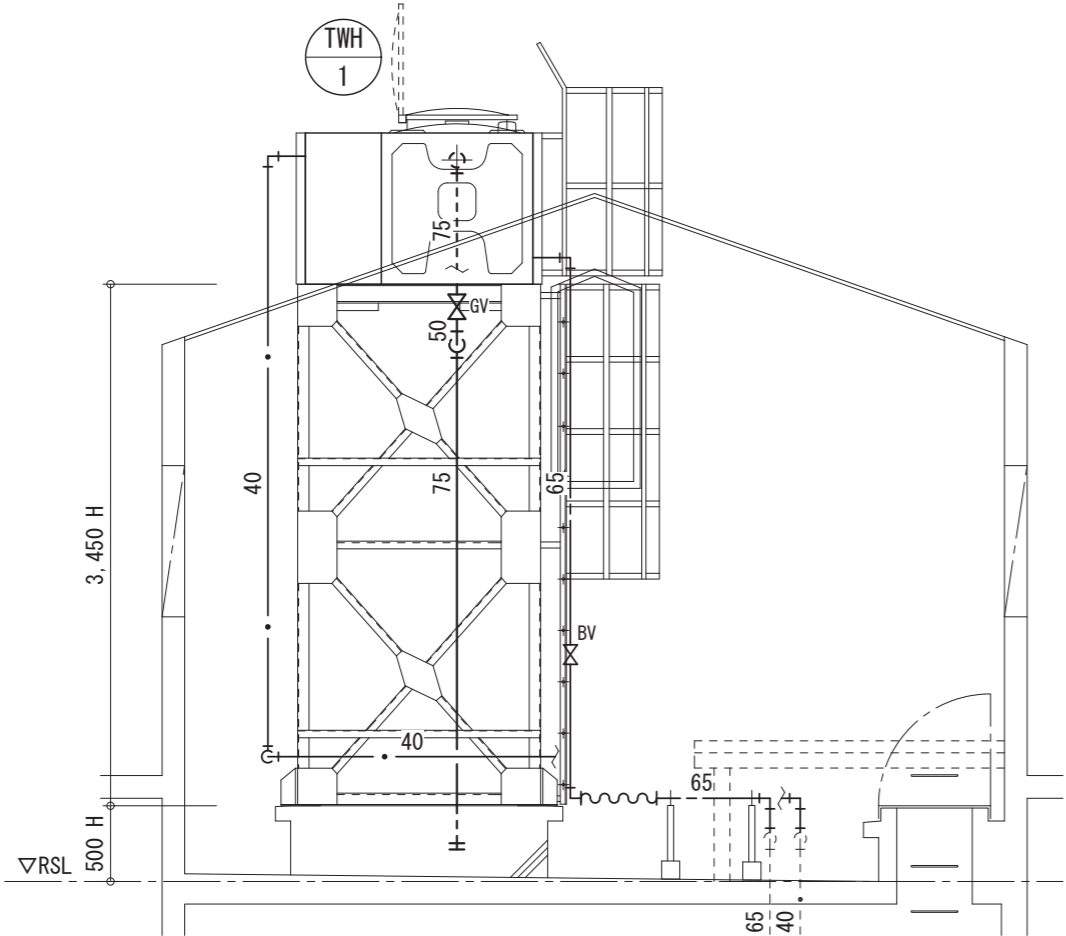
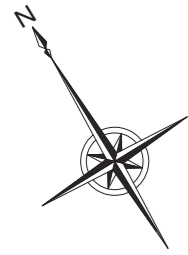
特記  
1. 太線は撤去機器・配管類を示し、細点線は既設を示す。



改修

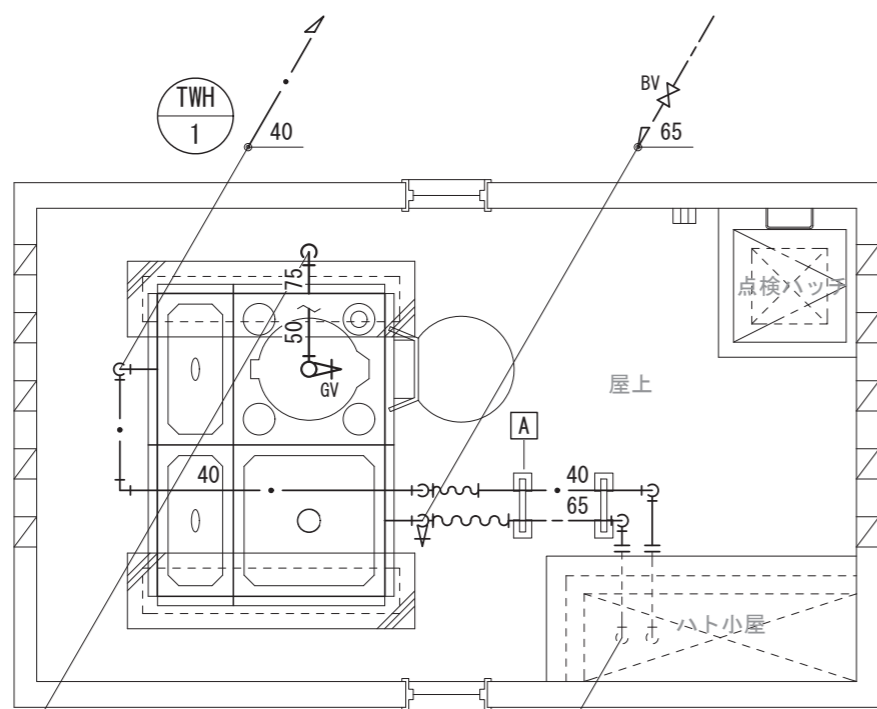
衛生機器表

記号	名称	仕様	数量	備考
TWH 1	高置水槽	FRP製複合板パネルタンク	1	※コンクリート基礎再利用
		水槽：1.5×2.0×1.0H		
		呼称：3.0m3（有効容量 1.5m3） 耐震強度：1.5G 積雪荷重：100cm		
		付属品：鋼製高架台（溶融亜鉛メッキ仕上）3450H、電極座、梯子（背かご付）、マンホール600φ、通気口、配管支持用鋼材、その他付属品共		



展開図

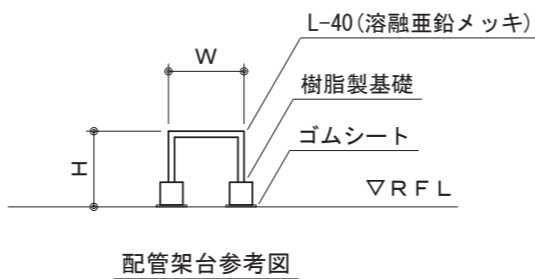
TWH-1 高置水槽廻り	
名称	個数
BV(5K)-65 ライニング弁	1
FJ(合成ゴム)300L-40	1
FJ(合成ゴム)500L-65	1
GV(5K)-50	1
防虫網(KNV)-75	1



平面図

記号	W	H	個数
A	350	500	2

※寸法は参考とする



配管架台参考図

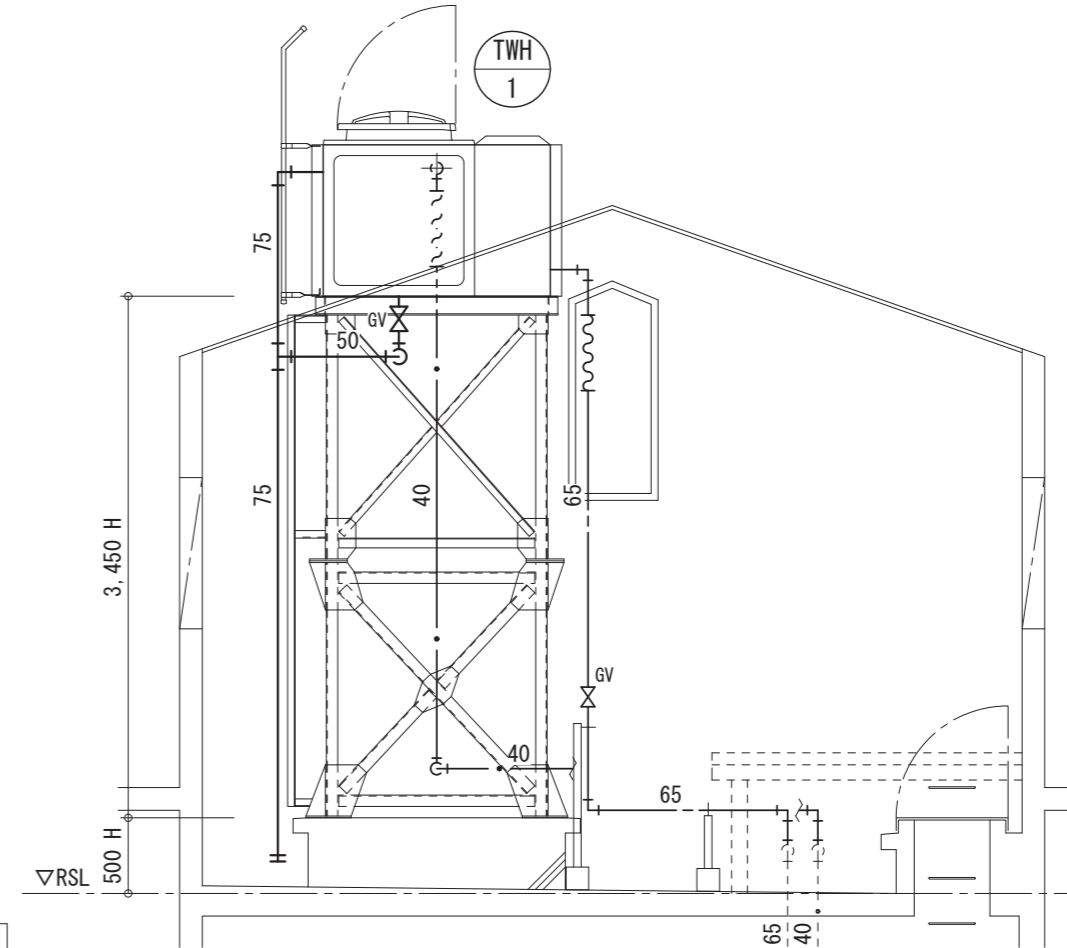
特記

1. 太線は更新機器・配管類を示し、細点線は既設を示す。

高置水槽廻り平面図（改修後）S=1/50

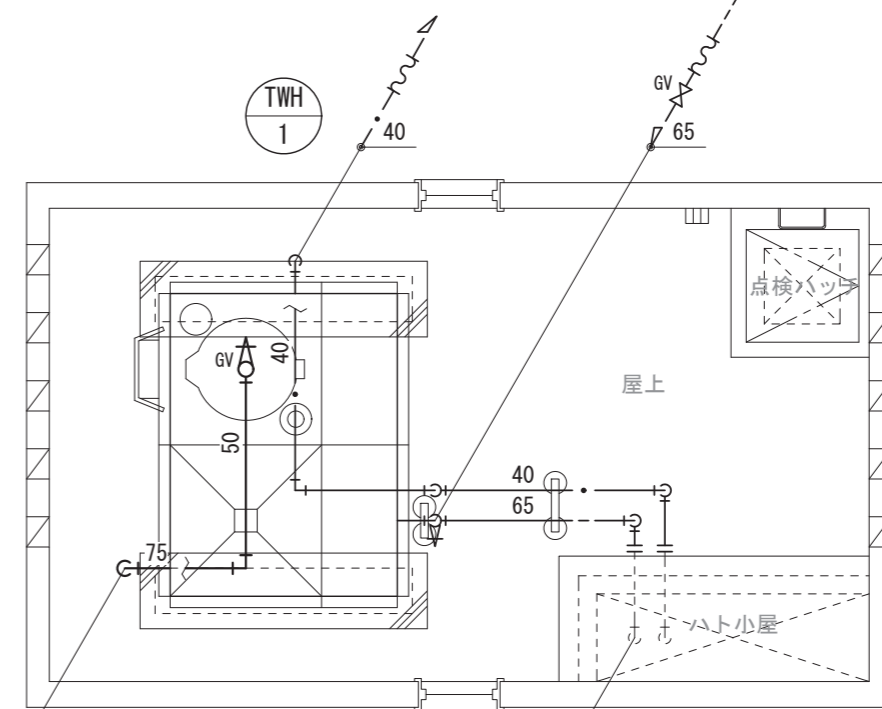
衛生機器表 (撤去)

記号	名称	仕様	数量	備考
TWH 1	高置水槽	FRP製複合板パネルタンク	1	※コンクリート基礎そのまま
		水槽：1.5×2.0×1.0H		
		呼称：3.0m3 耐震強度：1.0G 積雪荷重：100cm		
		付属品：鋼製高架台（溶融亜鉛メッキ仕上）3450H、電極座、梯子（背かご付）、マンホール600φ、通気口、その他付属品共		



展開図

TWH-1 高置水槽廻り	
名称	個数
GV-65 外ねじ式	1
FJ-40×500L	1
FJ-65×500L	1
GV-50	1
防虫網(KNV)-75	1



平面図

特記

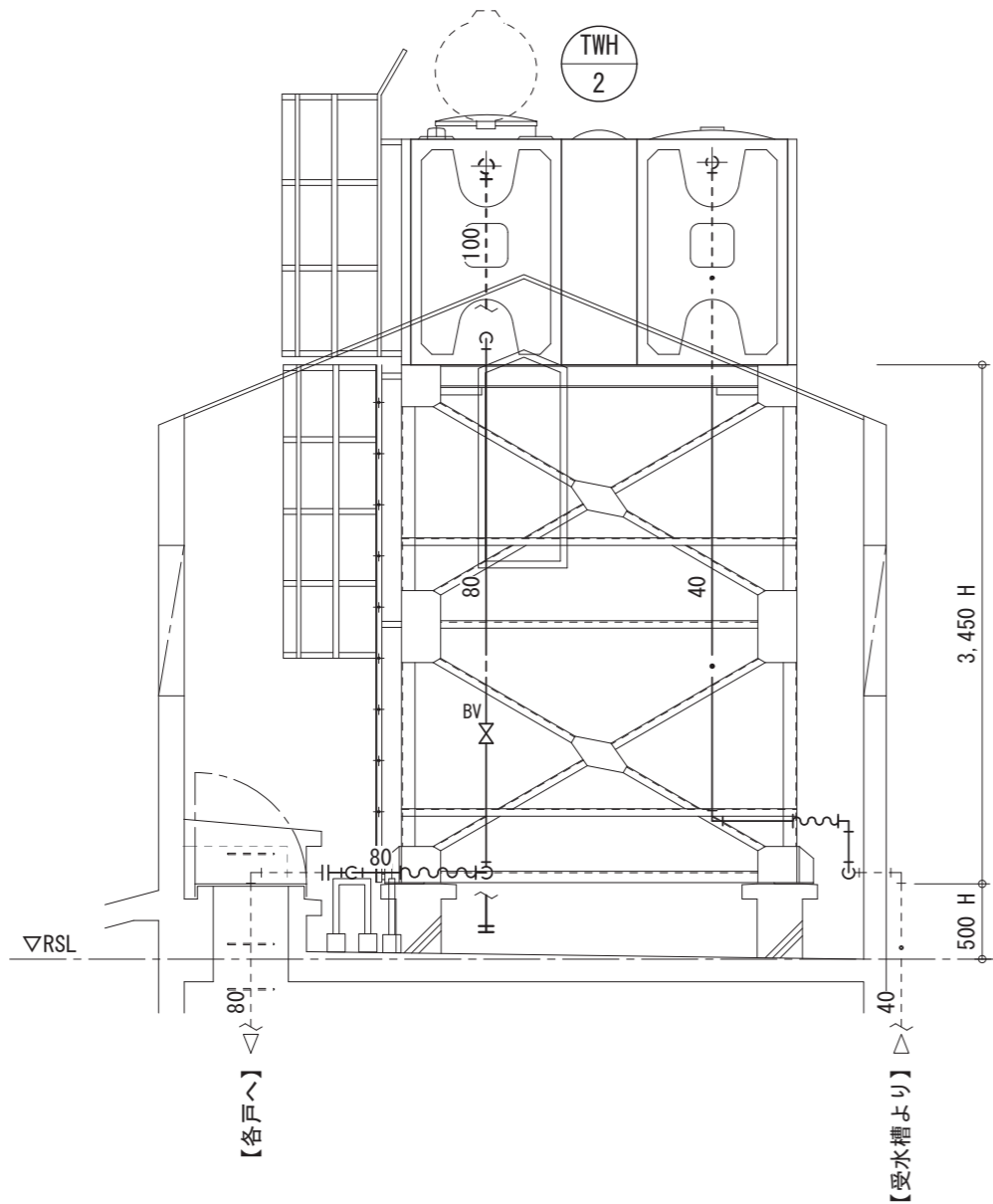
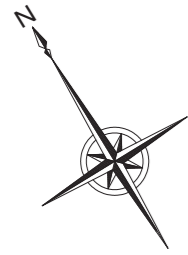
1. 太線は撤去機器・配管類を示し、細点線は既設を示す。

高置水槽廻り平面図（改修前）S=1/50



衛生機器表

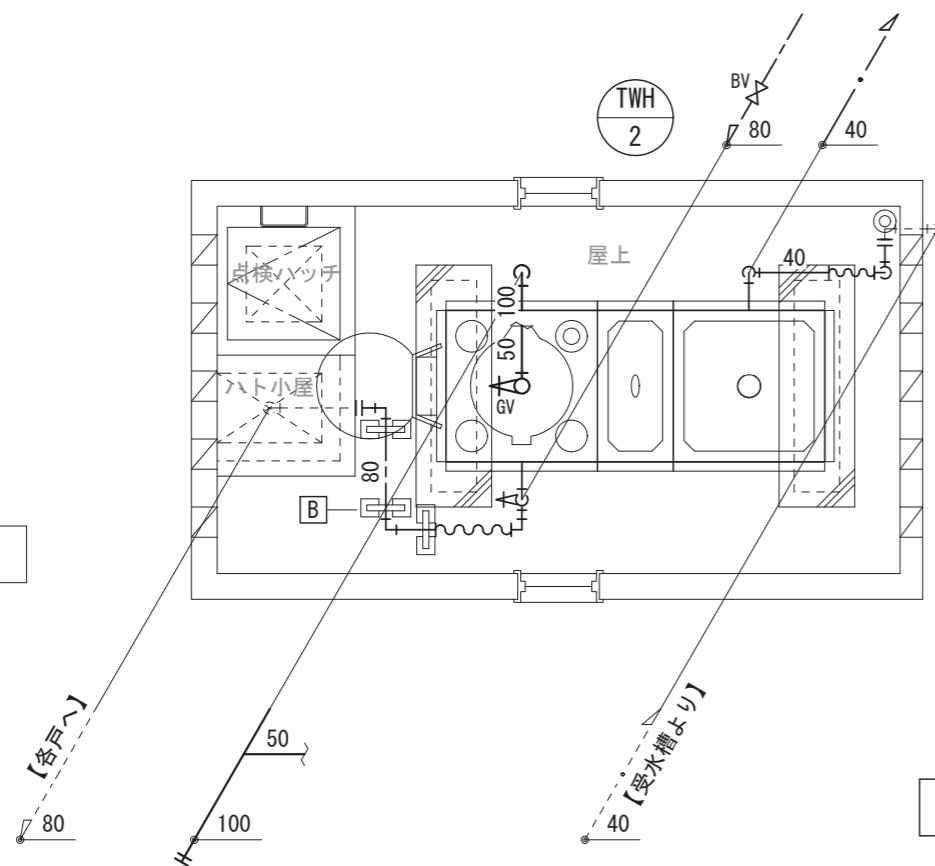
記号	名称	仕様	数量	備考
TWH 2	高置水槽	FRP製複合板パネルタンク	1	※コンクリート基礎再利用
		国土交通省仕様		
		水槽：1.0×2.5×1.5H		
		呼称：3.8m <sup>3</sup> （有効容量 2.1m <sup>3</sup> ） 耐震強度：1.5G 積雪荷重：100cm		
付属品：鋼製高架台（溶融亜鉛メッキ仕上）3450H、電極座、梯子（背かご付）、マンホール600φ、通気口、配管支持用鋼材、その他付属品共				



TWH-2 高置水槽廻り	
名称	個数
BV(5K)-80 ライニング弁	1
FJ(合成ゴム)300L-40	1
FJ(合成ゴム)500L-80	1
GV(5K)-50	1
防虫網(KNV)-100	1

展開図

平面図



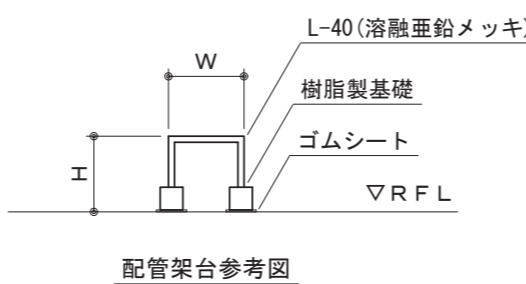
高置水槽廻り平面図（改修後）S=1/50

特記

1. 太線は更新機器・配管類を示し、細点線は既設を示す。

記号	W	H	個数
B	250	500	3

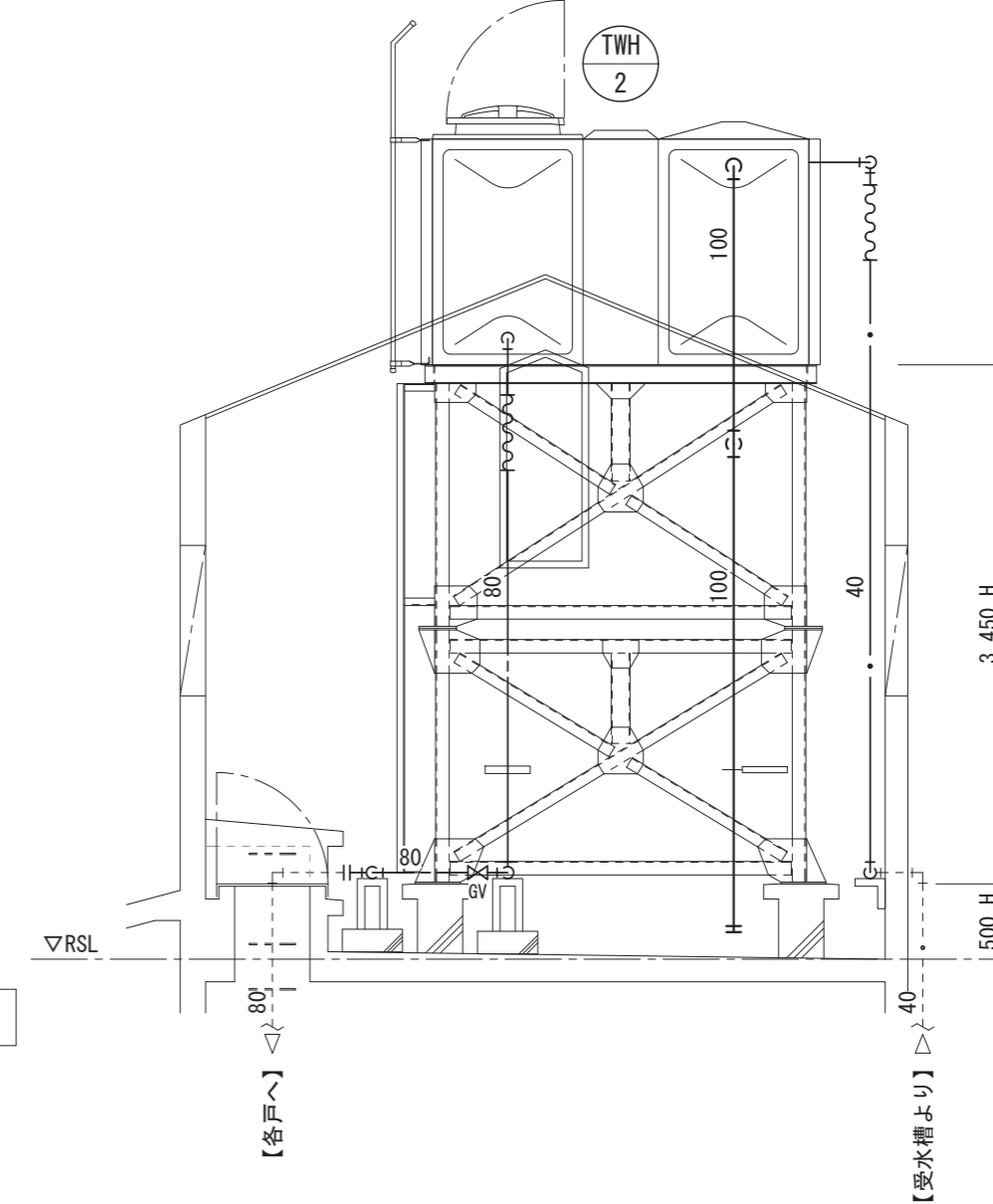
※寸法は参考とする



配管架台参考図

衛生機器表 (撤去)

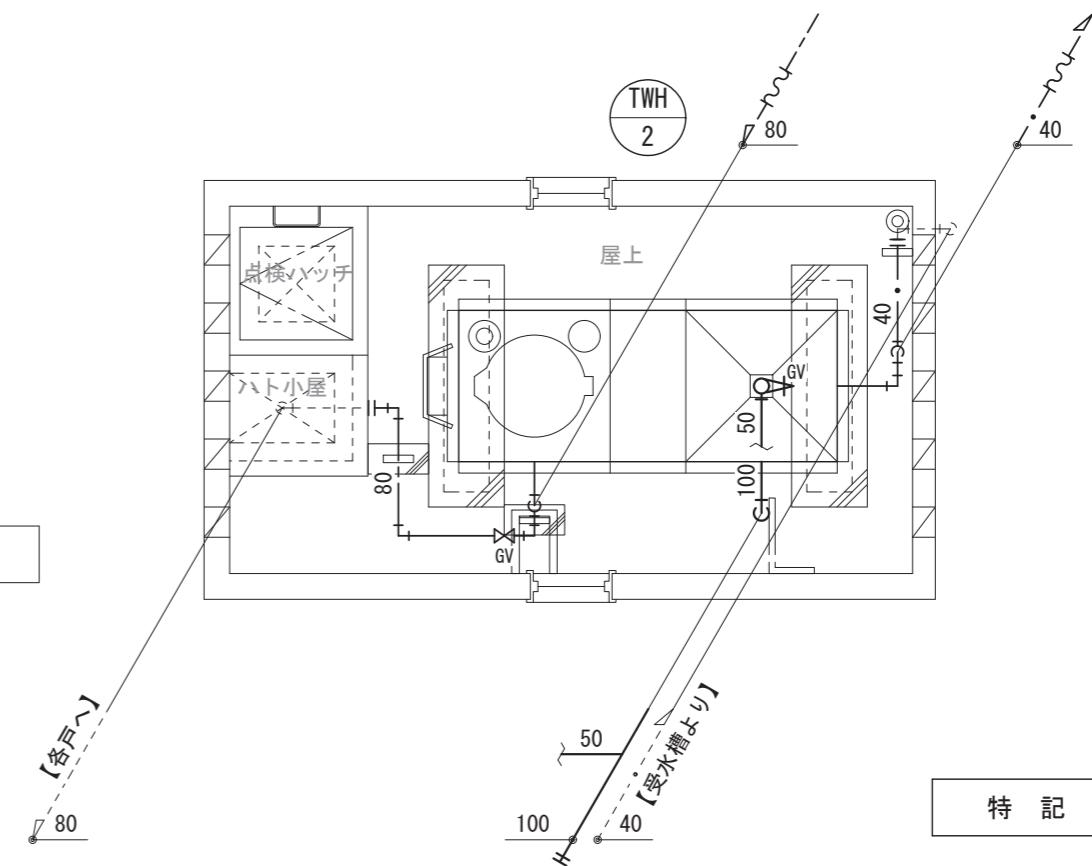
記号	名称	仕様	数量	備考
TWH 2	高置水槽	FRP製複合板パネルタンク	1	※コンクリート基礎そのまま
		水槽：1.0×2.5×1.5H		
		呼称：3.8m <sup>3</sup> 耐震強度：1.0G		
		付属品：鋼製高架台（溶融亜鉛メッキ仕上）3450H、電極座、梯子、マンホール600φ、通気口、その他付属品共		



TWH-2 高置水槽廻り	
名称	個数
GV-80 外ねじ式	1
FJ-40×500L	1
FJ-80×500L	1
GV-50	1
防虫網(KNV)-100	1

展開図

平面図



高置水槽廻り平面図（改修前）S=1/50

特記

1. 太線は撤去機器・配管類を示し、細点線は既設を示す。

← 改修



衛生機器表

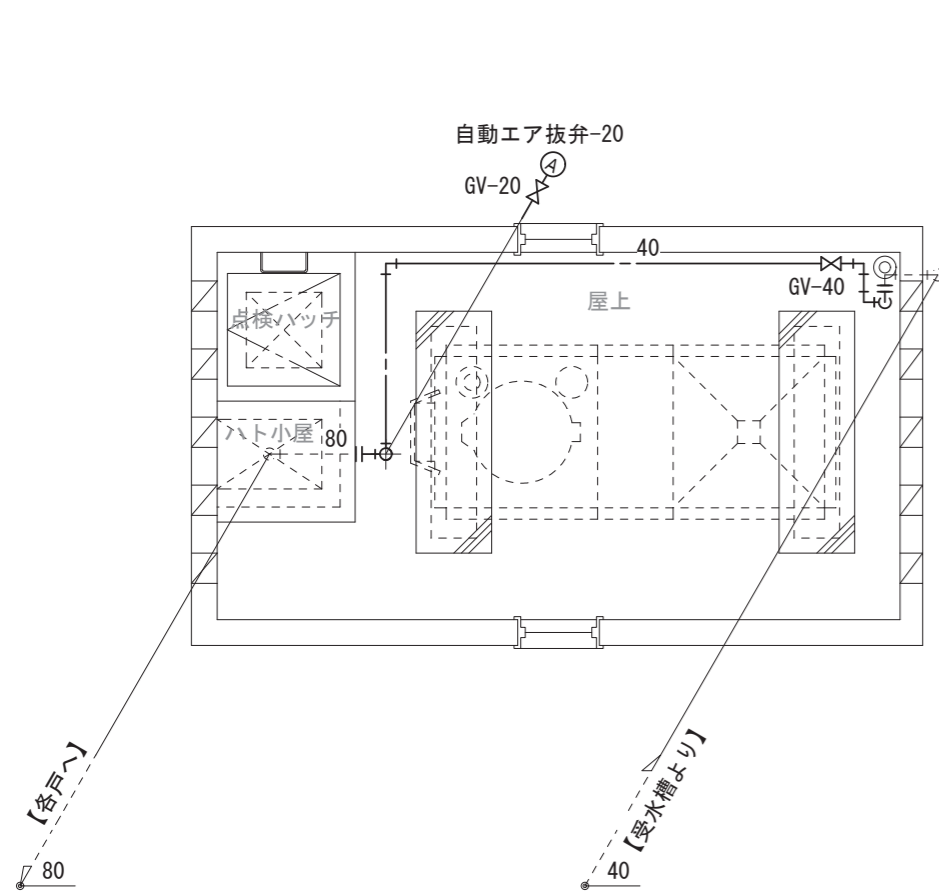
記号	名称	仕様	数量	備考
TW 2	受水槽 (※リース品)	ステンレス製パネルタンク	1	※地上設置
		水槽: 3.0×2.0×2.5H		
		呼称: 15.0m <sup>3</sup>		
		付属品: 鋼製平架台(溶融亜鉛メッキ仕上)、電極座、梯子、マンホール600φ、通気口、その他付属品共		
PU 1	加圧給水ポンプユニット	推定末端圧力一定型 (インバーター制御) 自動交互並列運転	1	※地上設置
		能力: 32A×50A×200L/min×40m 出力: 1.1×2 kW 電源: 3φ200V		
		付属品: 制御盤(緊急停止回路付)、凍結防止仕様、赤水防止対策、漏電遮断器、雷サージ対策、高調波対策(換算係数Ki=1.8以下)、衝撃吸収式逆止弁、警報回転灯用端子、屋外カバー、その他付属品共		

凡例

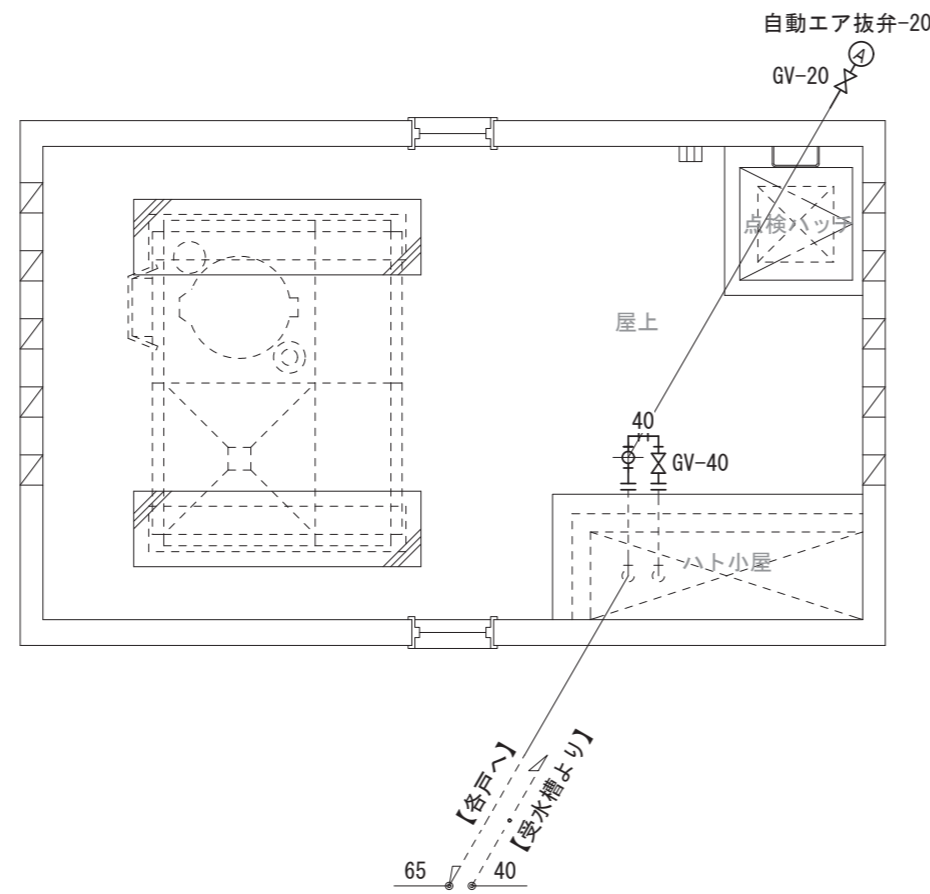
記号	名称	使用場所	管種
----	給水管	全て	耐衝撃性硬質塩化ビニル管 H I V P (JIS K6742)
----	排水管	全て	硬質塩化ビニル管 V P (JIS K6741)
—  —	既設管接続	既設管との切離し・接続部分を示す	
-----	既設		

特記

- 太線は仮設機器・配管類を示し、細点線は既設を示す。
- 受水槽・高置水槽更新に伴い、工事期間中は仮設受水槽(リース品)・給水ポンプユニットを設置して、既設揚水管・給水管を仮設で相互接続し、各戸へ給水供給を行う。
- 仮設配管は転がし配管とし、給水管は保温チューブ20t巻きとする。
- 仮設切替後、管内エア抜き・フラッシングを行い、各戸漏水状況を確認すること。
- 本設切替後、仮設は全て撤去し現状復旧とする。

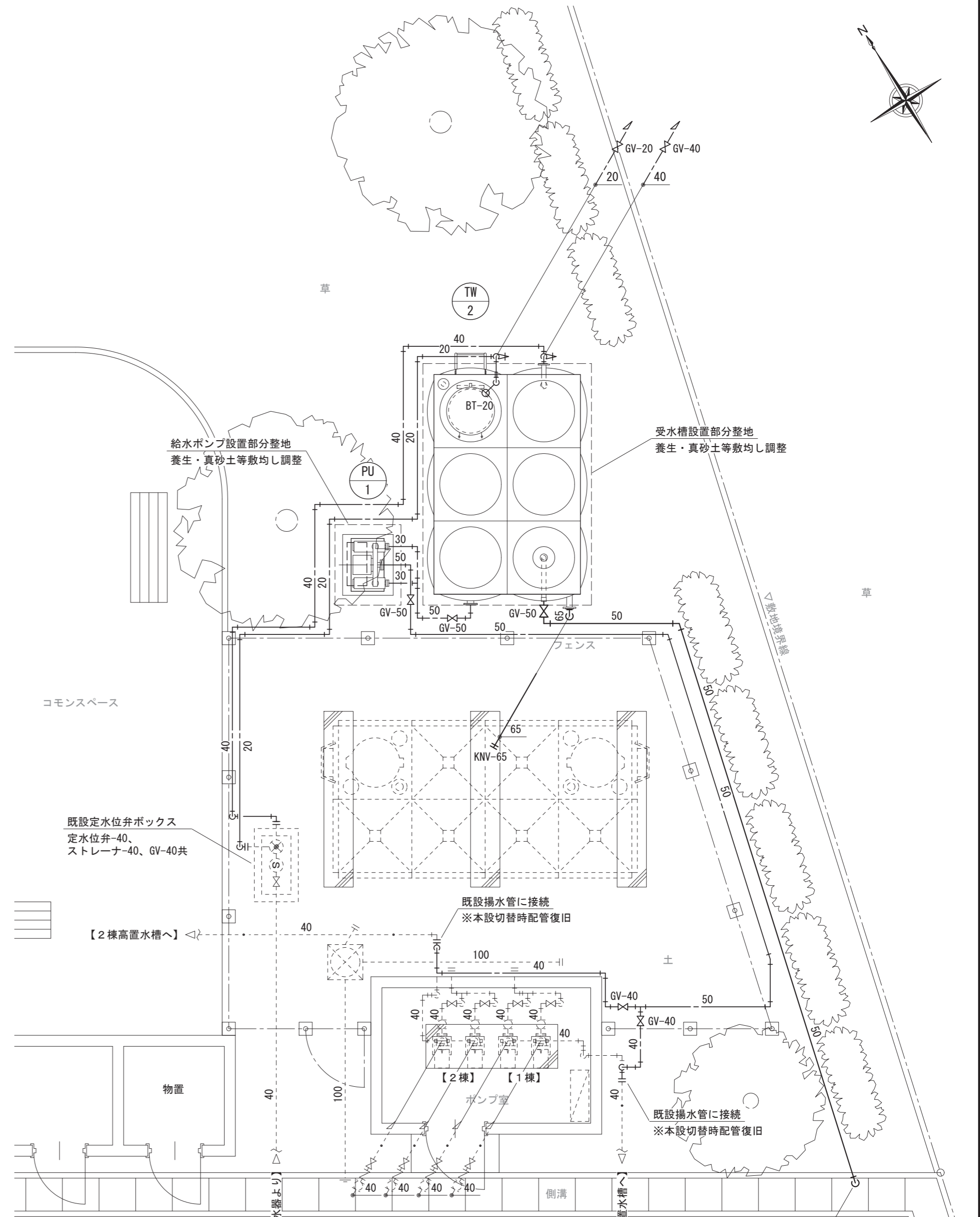


2棟屋上平面図



1棟屋上平面図

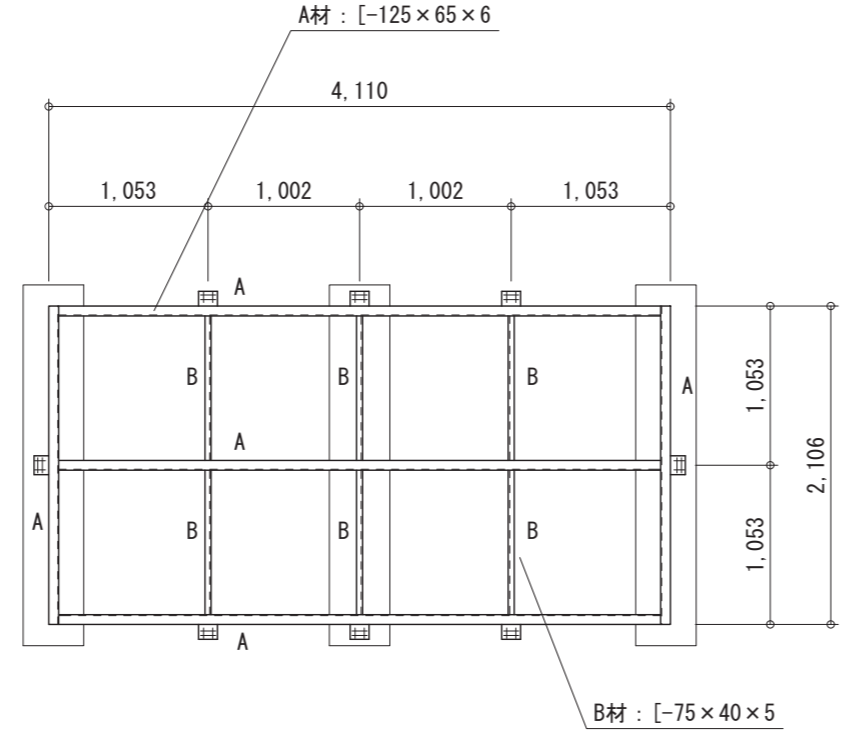
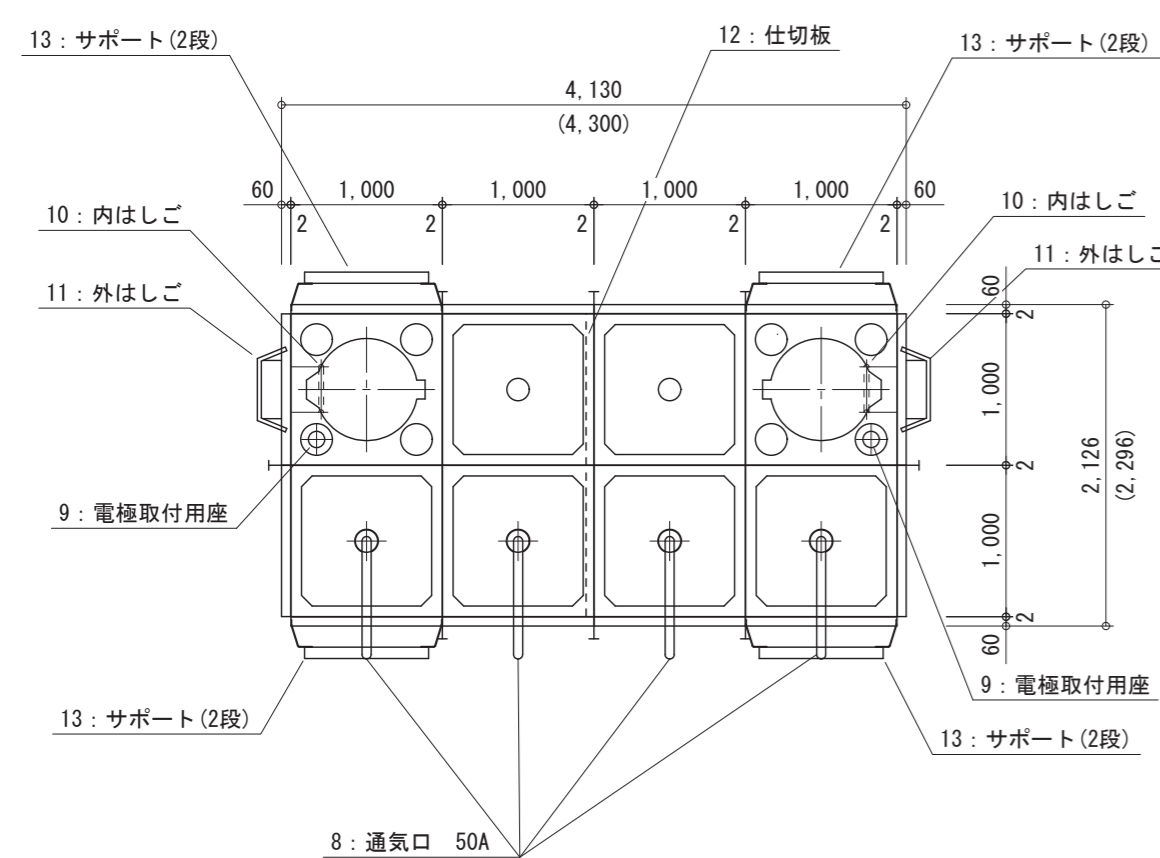
仮設給水水平面図 S=1/50



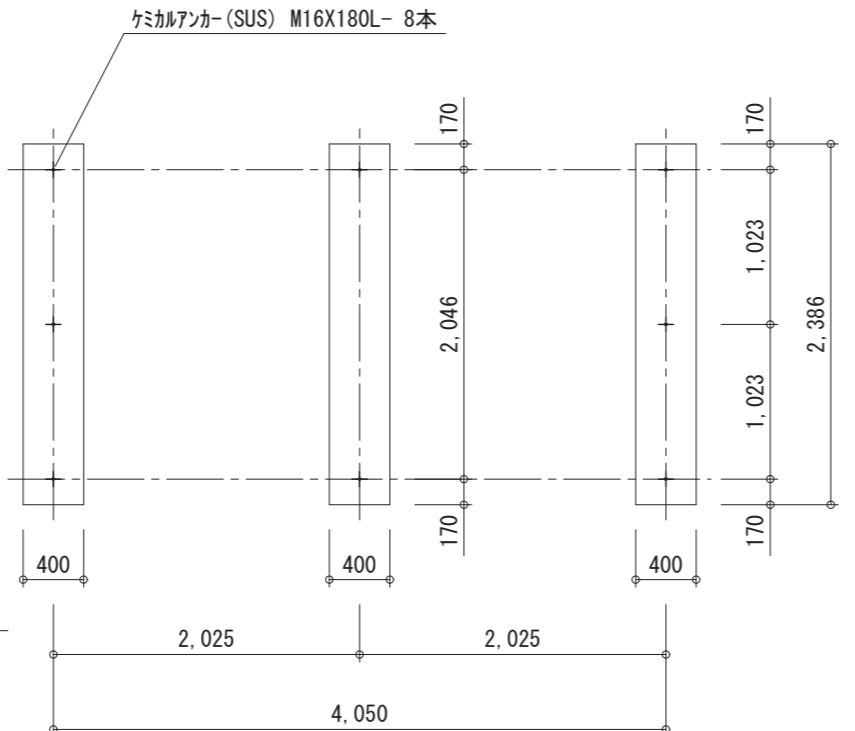
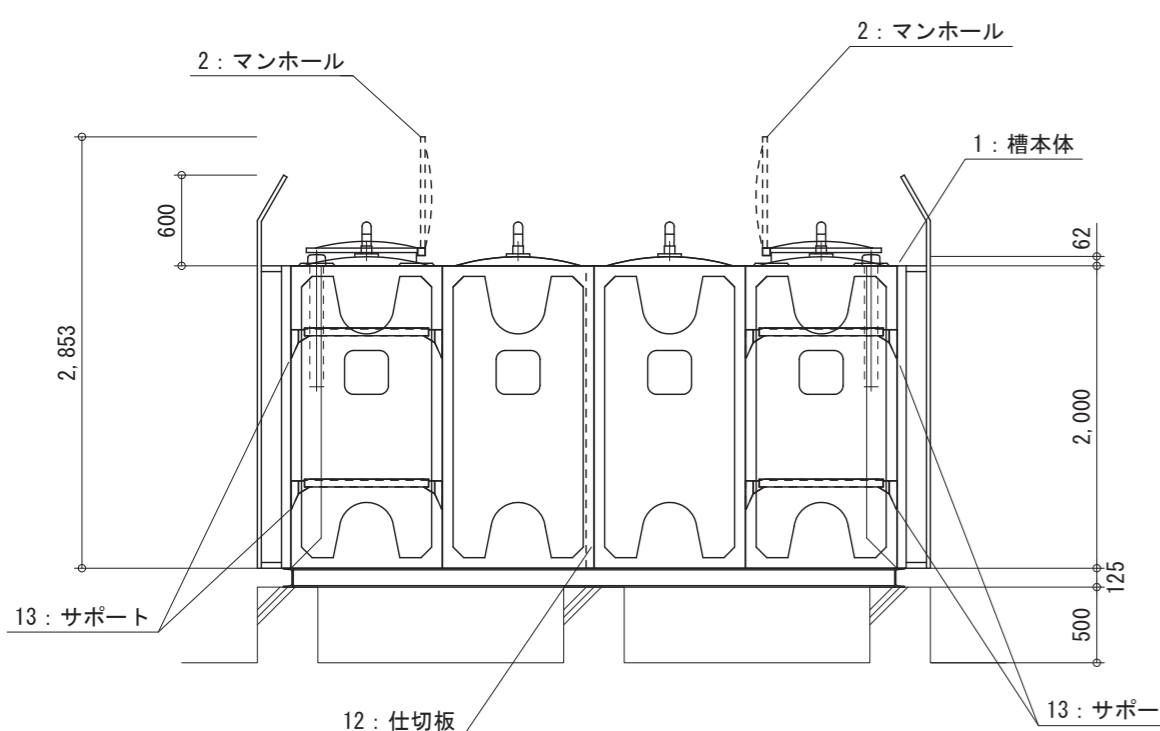
受水槽周り平面図



Living Environment Technology <b>株式会社 LET</b> 一級建築士事務所/建築設備設計事務所	一級建築士事務所 鳥取県知事登録 第29-1348号	CHECK	DRAW	TITLE	DATE	NO.
	管理建築士 森本博美 一級建築士登録 第103826号	[Red Seal]	[Red Seal]	県営住宅福守第一団地給水設備改修工事 (1棟・2棟)	2022.03	M 08 12
建築設備士 畑津貴文 建築設備士登録 第24F1-0044N0号	NAME			給水設備 仮設給水水平面図	SCALE	



架台図  
(溶融垂鉛めっき)



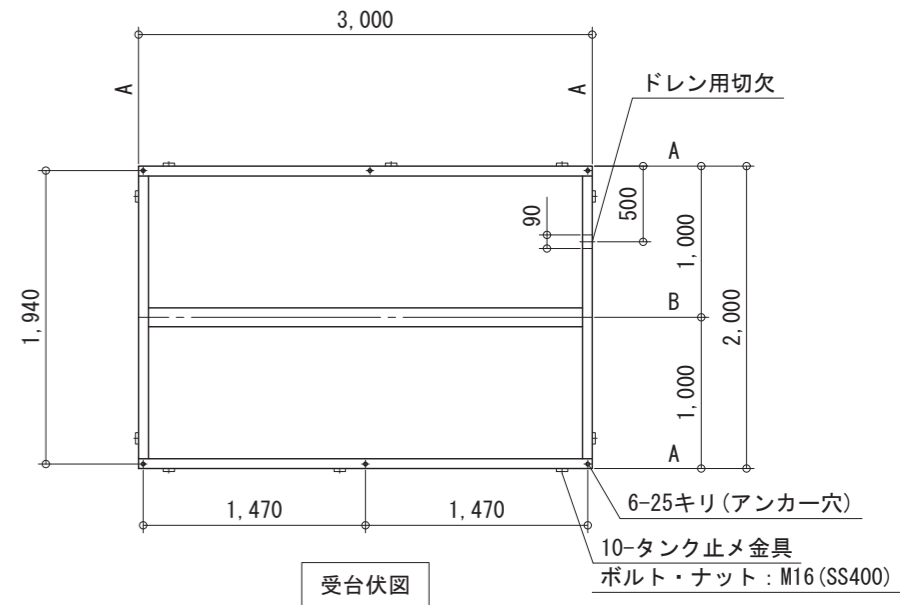
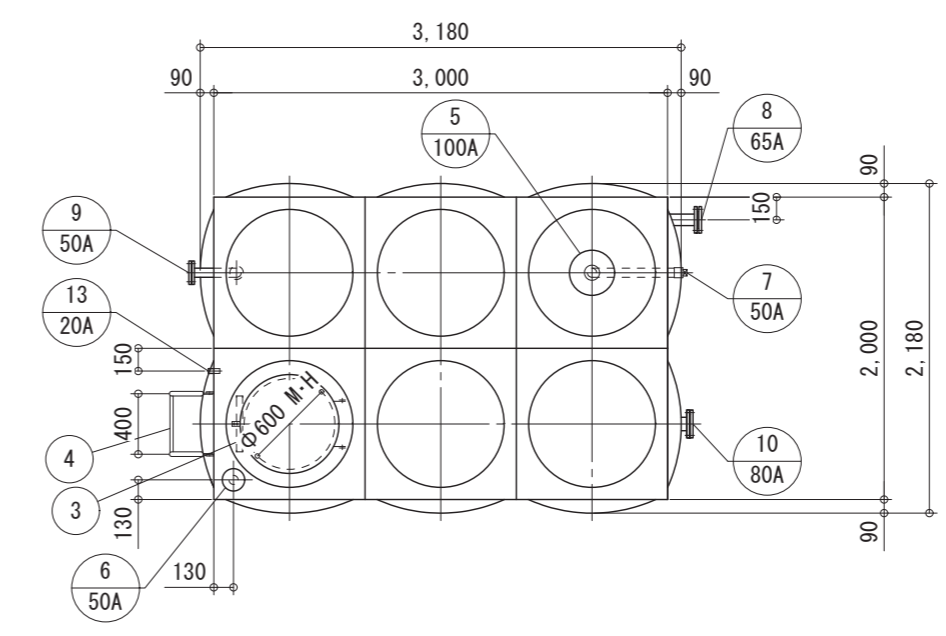
基礎参考図  
(アンカーボルト位置図)

TW-1 受水槽					
13	サポート	SS	8	-	側壁配管サ-ト1000
12	仕切板	FRP	1		
11	外はしご	SS	2	巾385	溶融垂鉛めっき品
10	内はしご	PVC	2	巾300	
9	電極取付用座	ABS	2	PF2	カバー、防波管付(透明管)
8	通気口	PVC	4	50A	多雷L型 防虫網付
7	排水口				
6	溢水口				
5	出水口				
4	入水口				
3	入水口				
2	マンホール	FRP	2	φ600	取外し兼用型 内ふた付
1	槽本体	FRP	1		( 16 m <sup>3</sup> )
No	名称	材質	数量	サイズ	

受水槽 (TW-1) 参考姿図 S=1/50

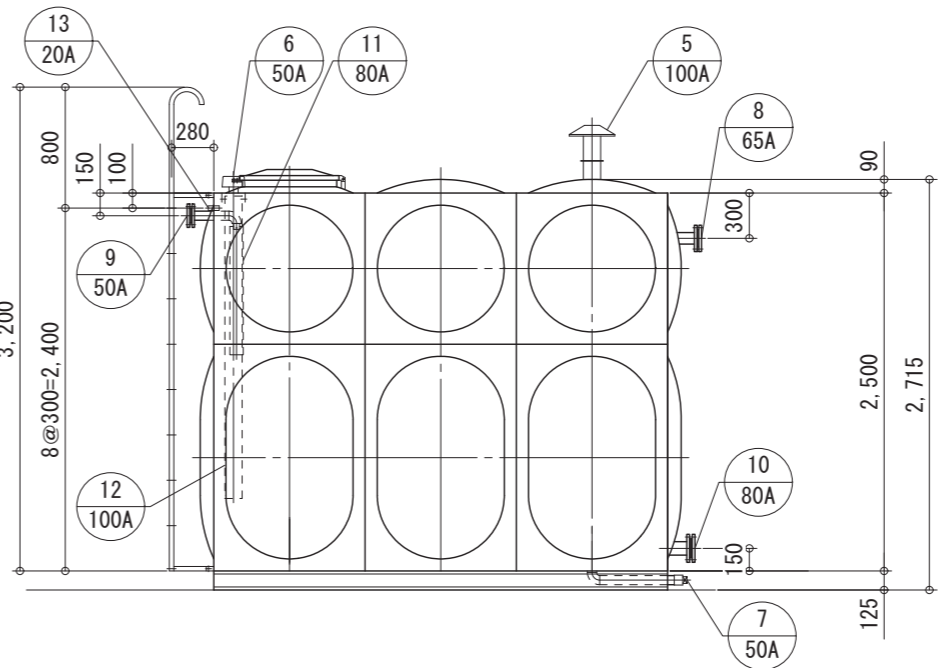
特記

1. 寸法等は参考とし、現場合わせにて調整すること。



受台伏図

A材: C-125x65x6  
B材: H-125x125x6.5x9



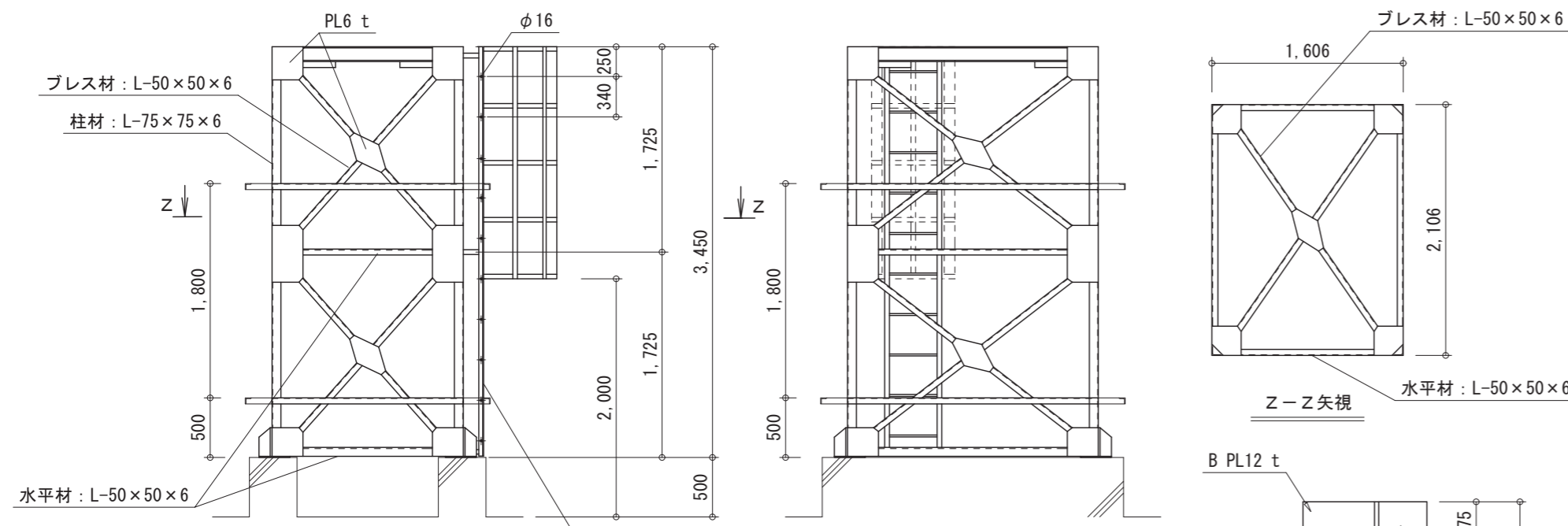
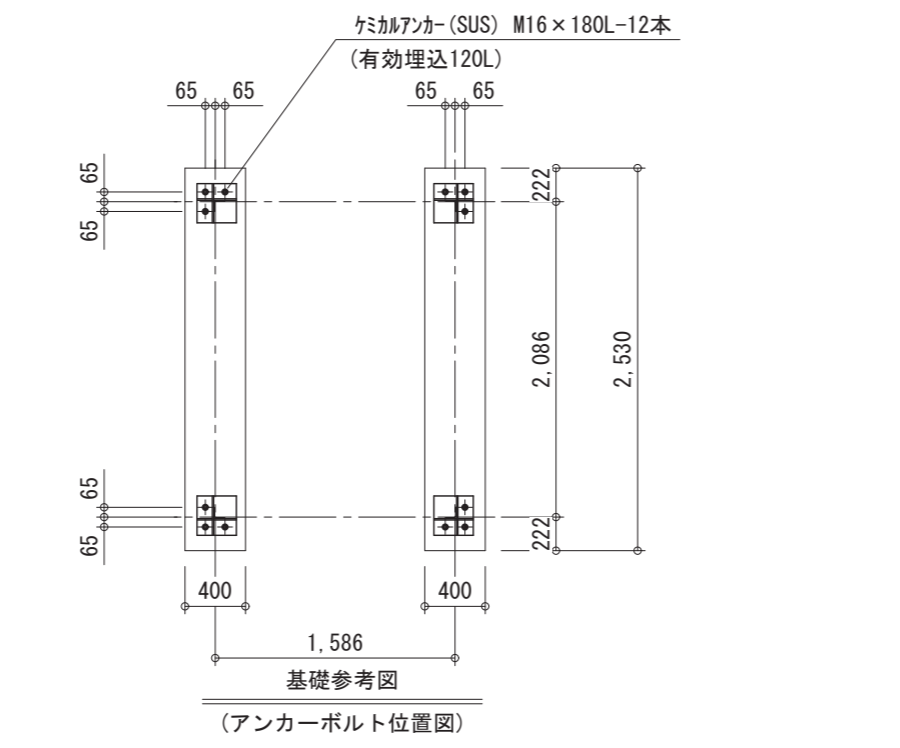
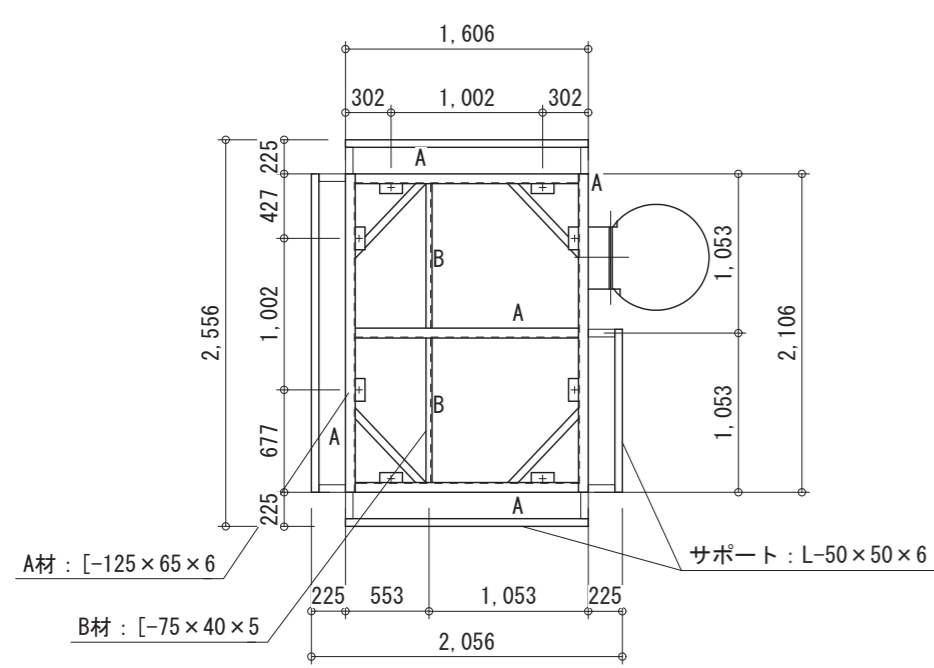
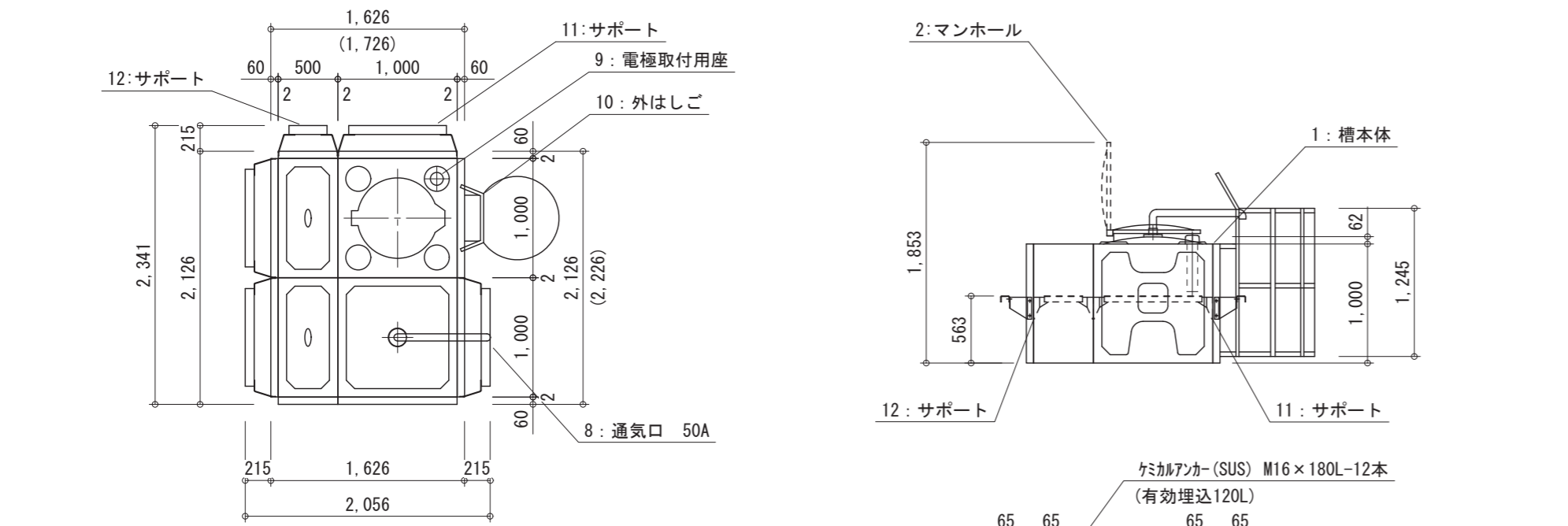
TW-2 受水槽					※リース品	
13	ボールタップ口	SUS316	20A	1		内外ソケット
12	電極用防波筒	VPW	100A×2000L	1		有孔管、サポート (AU) 付
11	⑨用防波筒	VPW	80A×900L	1		詳細図参照
10	給水出口	SUS304	80A	1		JIS10KF (SS400) BF付
9	給水入口	SUS316	50A	1		JIS10KF (SS400) 内部チャージ+防波筒付 (詳細図参照)
8	越流管	SUS329J4L	65A	1		JIS10KF (SS400) BF付
7	排水管	SUS304	50A	1		ソケットSUSラゲ止メ (詳細図参照)
6	電極座	SUS316	50A	1		保護BOX付 (樹脂) オロン対応型
5	通気口	SUS329J4L	100A	1		SUS製通気筒付 (φ2バッチング)
4	外タラップ	STK-φ27.2 RB-φ16	W400×P300	1		溶融垂鉛めっき
3	内タラップ	SUS329J4L	W370×P300	1		L-30×30×2
2	マンホール	SUS329J4L	φ600	1		首板フリス品
1	本体	SUS		1		溶接構造型 ( 15 m <sup>3</sup> )
品番	名称	材質	寸法	数量		備考

受水槽 (TW-2) 参考姿図 S=1/50

特記

1. 寸法等は参考とし、現場合わせにて調整すること。



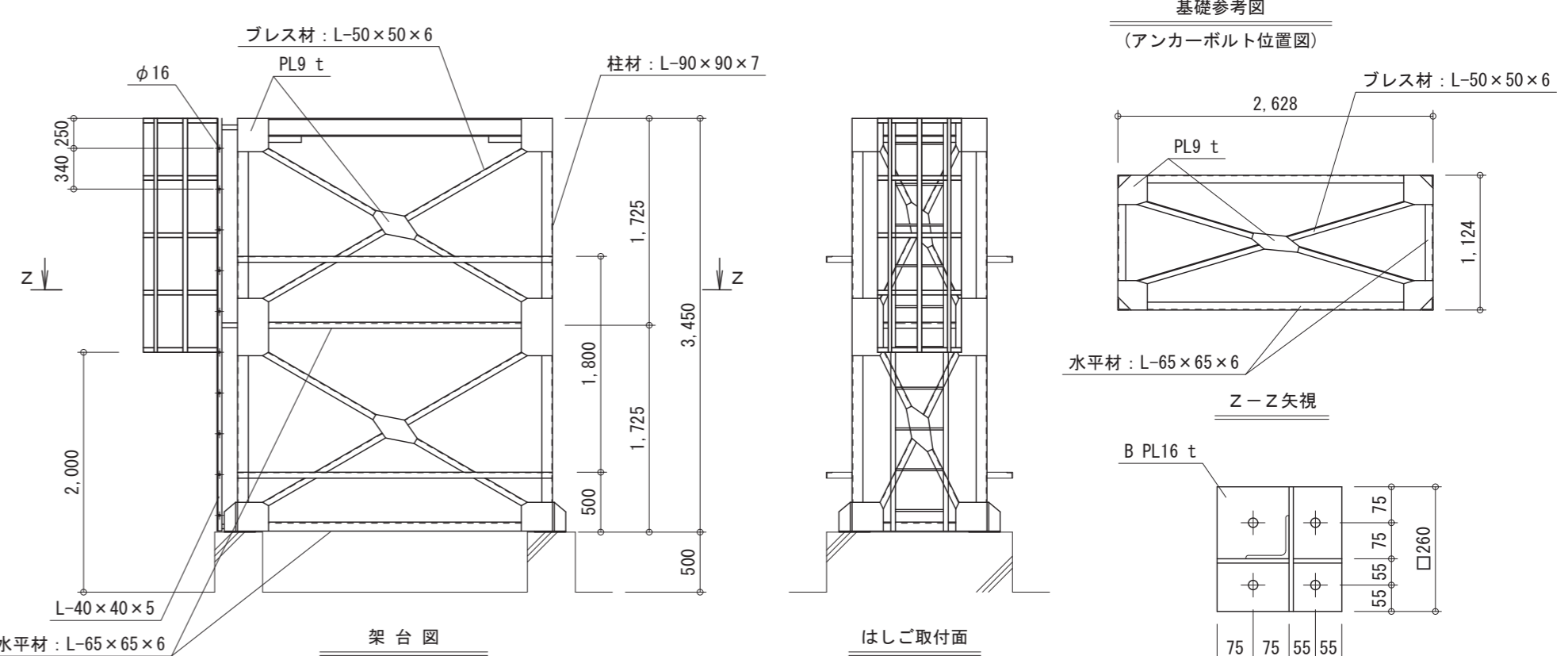
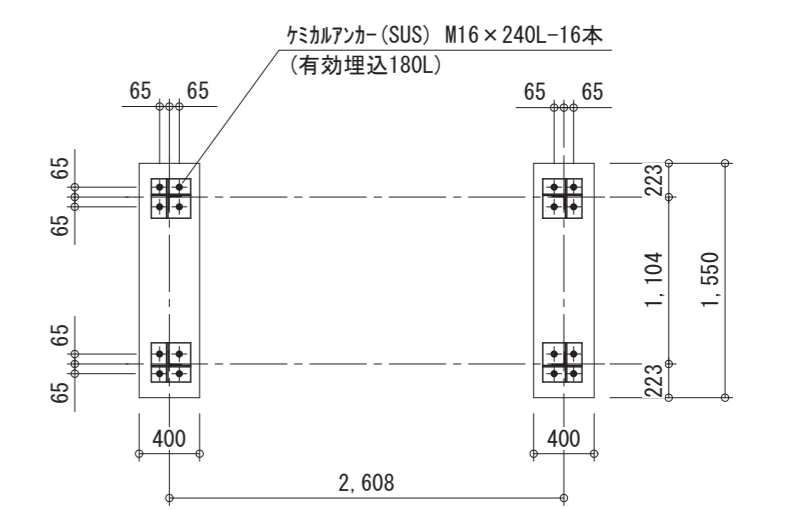
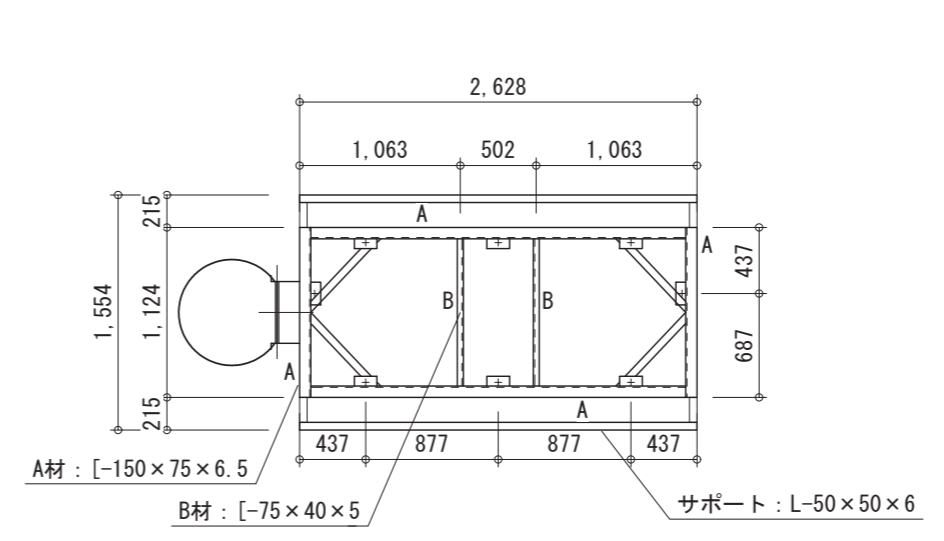
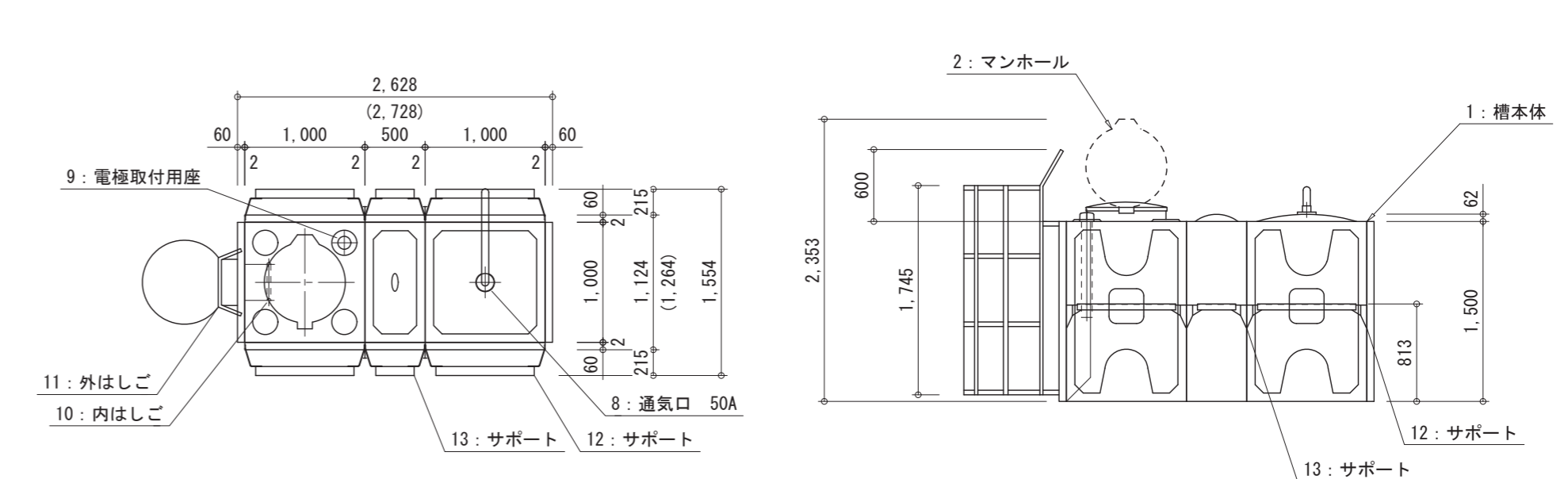


TWH-1 高置水槽			
No	名称	材質	数量 サイズ
12	サポート	SS	1 側壁配管サポート500
11	サポート	SS	4 側壁配管サポート1000
10	外はしご	SS	1 巾385 フープガード付溶融亜鉛めっき品
9	電極取付用座	ABS	1 PF2 カハ- 防波管付(透明管) L=400
8	通気口	PVC	1 50A 多雷L型 防虫網付
7	排水口		
6	溢水口		
5	出口		
4	入口		
3	入口		
2	マンホール	FRP	1 φ600 取外し兼用型 内ふた付
1	槽本体	FRP	1 (3 m <sup>3</sup> )

特記

1. 寸法等は参考とし、現場合わせにて調整すること。

高置水槽 (THW-1) 参考姿図 S=1/50



TWH-2 高置水槽			
No	名称	材質	数量 サイズ
13	サポート	SS	2 側壁配管サ-ト500
12	サポート	SS	4 側壁配管サ-ト1000
11	外はしご	SS	1 巾385 フープガード付溶融亜鉛めっき品
10	内はしご	PVC	1 巾300
9	電極取付用座	ABS	1 PF2 カハ- 防波管付(透明管)
8	通気口	PVC	1 50A 多雷L型 防虫網付
7	排水口		
6	溢水口		
5	出口		
4	入口		
3	入口		
2	マンホール	FRP	1 φ600 取外し兼用型 内ふた付
1	槽本体	FRP	1 (3.8 m <sup>3</sup> )

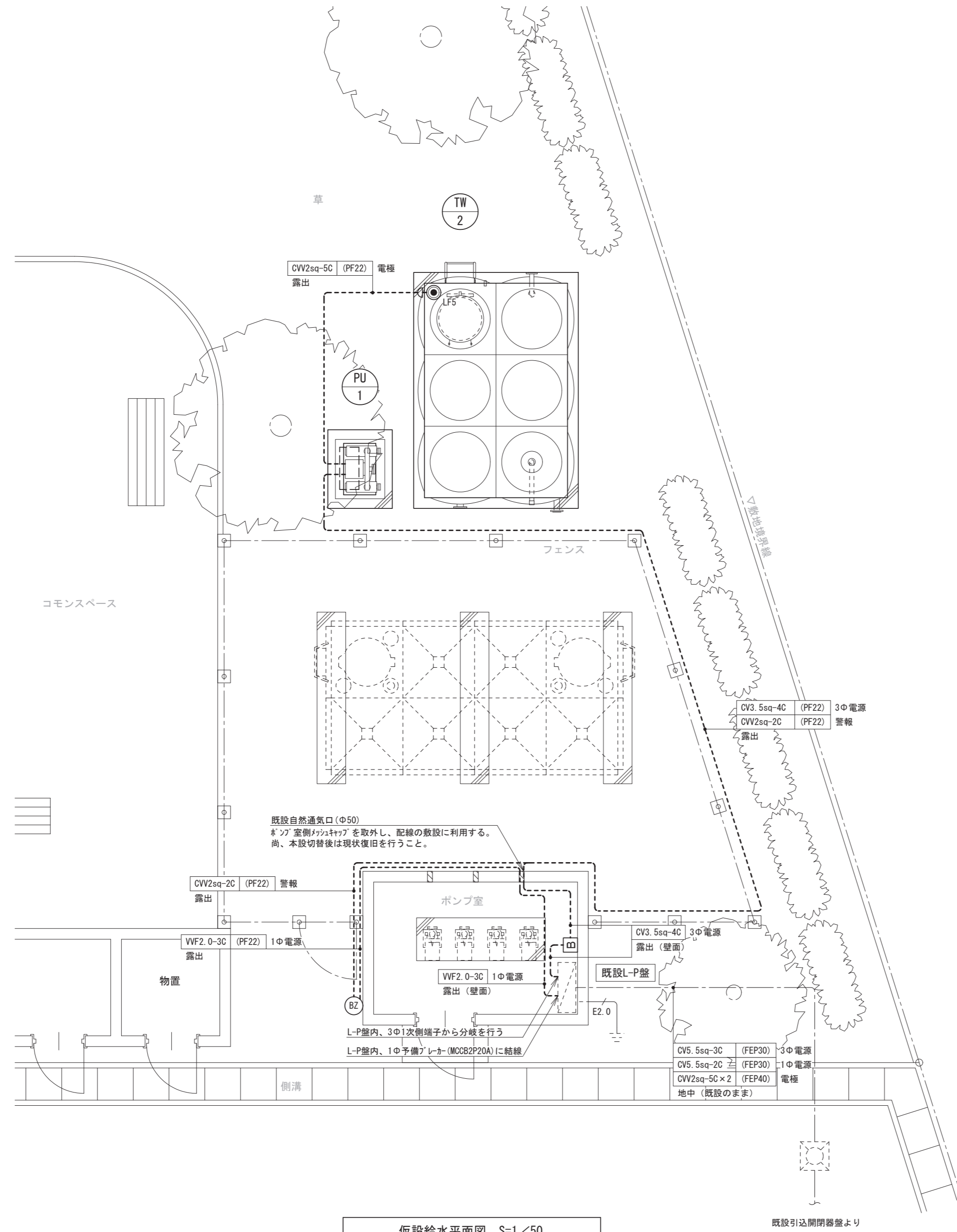
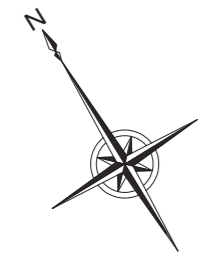
特記

1. 寸法等は参考とし、現場合わせにて調整すること。

高置水槽 (THW-2) 参考姿図 S=1/50







注 記

1. 既存設備を現地確認の上、施工のこと。
2. 図中、太線で示す配管配線・器具を新設すること。
3. 図中、細線で示す機器及び配管配線は既設を示し、残置とする。
3. 工事期間中の仮設受水槽(リース品)・給水ポンプユニット設置に伴い、仮設電気設備(電源・制御類)の新設を行う。
4. 仮設配管は転がし配管とし、立上げ部のみ適切に支持を行うこと。
5. 本設切替後、仮設は全て撤去し現状復旧とする。
6. 図中、指示なきシブ Mは標準図または凡例による。

記 号	名 称	摘 要
● LF5	電極	5種 新設(本設切替後、撤去)
△	エントランスキャップ	新設(本設切替後、撤去)
B	配線用遮断器	MCCB3P30/20A 新設(本設切替後、撤去)
⊙ BZ	警報ランプ付プザー	参考図参照 新設(本設切替後、撤去)

参考図

⊙ BZ 警報ランプ付プザー

定格	電圧 AC100V 50/60Hz
消費電力	動作時: 5W 待機時: 1W
操作電圧	DC5V
使用周囲温度	-10℃~+50℃
質量	約530g
音圧	警報音: 約90dB (前方1mにて) 報知音: 約65dB (前方1mにて)

